

とろろこんぶシステム工房

承認はんこ Ver4. 8. 0 Rel. 4

ユーザーズガイド

2012/06/26

とろろこんぶ

電子印鑑

目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 動作環境	2
1-2. 印影ファイルとライセンス	2
2. インストール	4
2-1. インストールの準備	4
2-2. インストーラの実行	5
2-3. Excel/Word 押印メニューの組み込み	11
2-4. インストールされるファイルとフォルダー	14
2-5. インデックスファイルパスの設定	15
2-6. 承認はんこマネージャへのプロダクト ID の設定	17
2-7 アンインストール	18
実習1 インストール	20
3. 押印	21
3-1. 承認はんこオブジェクトの挿入	21
3-2. 押印ダイアログ	24
実習2 押印	28
4. 押印情報の確認	29
実習3 押印情報の確認	30
5. インデックスファイル shrindex.dat と .shn ファイル	31
6. 承認印の登録、削除、修正	32
6-1. 承認はんこマネージャ(shankmgr.exe) の起動	32
6-2. 承認印の追加	33
6-3. 詳細設定	34
6-4. 承認印の削除	36
6-5. 承認印の修正	37
実習4 自分の名前の登録	38
7. 印影ファイルのチェック	39
8. パスワードの変更	41
実習5 パスワードの変更	42
9. プロファイルについて	43
10. ログの出力	45
11. 未押印オブジェクト	49
12. 自動押印	50
13. クリップボード転写	51
14. 押印ダイアログの承認はんこ選択リストの順番	52
Appendix A 印影ファイル変換ツール bmp2han のご案内	53
Appendix B レジストリに登録される承認はんこオブジェクト	54
Appendix C 実行モジュール及びインストーラに付加されているデジタル証明書について	55
Appendix D. アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化	56

このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」のインストール方法及び操作方法を説明したユーザーズガイドです。

1. はじめに

このソフトウェアは電子的に印鑑を押印し、パソコン上で電子的に決済を可能にするソフトウェアです。



このソフトウェアではOLEというテクノロジーを使って、はんこオブジェクトをデータに埋め込みます。例えば、ワードや－太郎などのOLE対応のワープロソフトには、オブジェクトの挿入という機能が用意されていますが、それを使って承認印のオブジェクトを文書中に埋め込みます。

押印の際にはパスワードを入力しなければなりません。このパスワード機能によってパスワードを知っている人しか押印できないようになっており、電子承認が可能になるわけです。押印時には承認者名、日付、承認者の所属、承認項目（文書番号）などがオブジェクトに埋め込まれます。また、承認履歴がログファイルに吐き出されますので、文書の承認履歴管理が可能になります。

1-1. 動作環境

このソフトウェアは次のOS上で動作します。

- Windows7(x64) / 7(x86)
- Windows Vista(x64) / Vista(x86)
- WindowsXP

1-2. 印影ファイルとライセンス

承認はんこを用いるには印影ファイルが必要になります。印影ファイルには印影イメージ情報が保持されています。また、印影ファイルには押印期限が設定されており、この期限を過ぎると押印できなくなります。

印影ファイルは2100姓用意されています。印影ファイルのリストは

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/>

をご覧ください。

企業ライセンス(企業向け)

企業向けのライセンスです。

企業ライセンスには印影ファイルを作成することができる印影変換ツール bmp2han.exe を利用することができます。また、押印期限制限なしの2100姓分の印影ファイルも利用できるようになります。

パーソナルライセンス(個人向け)

個人向けのライセンスですが企業内で用いることもできます。

パーソナルライセンスをご購入いただけますと印影ファイルを1つお送りいたします。お送りする印影ファイルには押印期限はありませんが、ユーザサイドで修正をすることは出来ません。

	企業 ライセンス	ワークグループ ライセンス	パーソナル ライセンス
印影変換ツール bmp2han	○	利用できません。	
印影ファイル	2100印影(2100姓 押印期限:無期限)		1印影(1姓 押印期限:無期限)

体験使用

体験用の印影ファイルが用意されています。次の URL からダウンロードしてください。

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/download.html>

注) 体験用の印影ファイルには押印期限が設定されております。

ライセンスについて詳しくは

http://www.tororokonbu.jp/hanko_price.html

を参照ください。

注) ライセンスが無くても体験使用できますので、次のインストールへ進んでください。

2. インストール

2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が shanko****.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。
解凍によって インストーラ setup_***.exe が生成されます。

インストーラは setup.exe と setup_nomgr.exe の2つが用意されています。
はじめて承認はんこを使用する場合は setup.exe を使用してください。

インストーラの種類	説明
setup.exe	<p>通常のインストーラ。</p> <p>インストールできるモジュールは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 承認はんこ押印ツール (Shanko.exe) ② 承認はんこ管理ツール(承認はんこマネージャ(shankomgr.exe)) ③ 承認はんこ用印影変換ツール (bmp2han.exe) ④ 押印ログチェックツール(checklog.exe) ⑤ Excel/Word 用押印メニューバー
setup_nomgr.exe	<p>管理ツールを除いたインストーラ。</p> <p>セキュリティを保つため、最終エンドユーザには管理ツールを渡したくないというニーズに応えたものです。</p> <p>また、インストール中のメッセージは日本語/英語自動選択になっています。日本語 Windows 以外へのインストールが行えるようになっています。</p> <p>インストールされるのは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 承認はんこ本体モジュール (Shanko.exe) ② Excel/Word 用押印メニューバー

承認はんこ印影変換ツール bmp2han の最新バージョンは、次のサイトからダウンロードしてください。

http://www.tororokonbu.jp/download_bmp2han.html

注) 承認はんこ印影変換ツール bmp2han を利用するには承認はんこ企業ライセンスが必要です。

注意) 承認はんこが既にインストールされている場合は承認はんこデータ(インデックスファイル : shnindex.dat や印影ファイル、プロファイル)をバックアップしておいてください。セットアップウィザードがこれらのファイルを上書きする場合があります。上書きされると、登録済みの承認印やプロファイルが削除されますので注意して下さい。

インストールは

- ① インストーラの実行
 - ② Excel 押印メニューアドインの組み込み
- の順序で行います。

2-2. インストーラの実行

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインしてください。
Excel/Word が起動している場合は終了させてください。

手順1) setup.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。

承認はんこのインストーラ には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一 (Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。
このバージョンに付加されているデジタル証明書の有効期限は **2014 年 4 月 28 日**です。
デジタル証明書の有効期限が切れている場合、または、パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合は「発行元：不明」の警告が表示されます。詳しくは「Appendix C. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について」を参照してください。

【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン[はい]をクリックしてください。



【Windows Vista の場合】

右図の表示が出ますのでボタン[続行]をクリックしてください。



手順2) インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。(右図)



手順3) インストールするモジュールの選択ダイアログが表示されます。

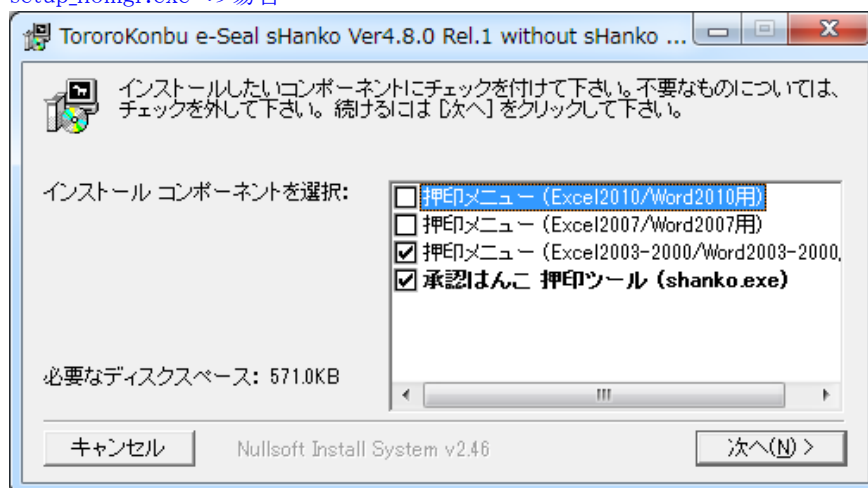
インストールするモジュールを選択します。

ボタン[Next >]をクリックします。
(右図)

setup.exe の場合



setup_nomgr.exe の場合



押印メニュー (Excel2010/Word2010 用)	Excel2010 および Word2010 用の押印メニューアドインがインストール。Office2010(64bit 版/32bit 版)で承認はんこを用いる場合は選択してください。
押印メニュー (Excel2007/Word2007 用)	Excel2007 および Word2007 用の押印メニューアドインがインストール。Office2007 で承認はんこを用いる場合は選択してください。
押印メニュー (Excel2003-2000 /Word2003-2000)	Excel2003,2002,2000 および MS-Word2003,2002,2000 用の押印メニューアドインがインストールされます。 Office2003,2002,2000 で承認はんこを用いる場合は選択してください。
承認はんこ サンプル印影	このユーザーズガイドのチュートリアルで使用するサンプルデータが入っています。承認はんこを初めて使用する場合はインストールしてください。 マイドキュメントフォルダーに配置されます。
承認はんこ	承認はんこの本体モジュール(押印ツール) shanko.exe です。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。
承認はんこ 管理ツール	承認はんこマネージャ shankomgr.exe がインストールされます。 承認はんこを初めて使用する場合はインストールしてください。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。
印影ファイル変換ツール	印影ファイルを作成するツール bmp2han がインストールされます。印影ファイル変換ツールを使用するには、承認はんこ企業ライセンスが必要になります。
チェック ログ	ログファイルの不正改ざんをチェックするツール checklog.exe です。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。

押印メニューは使用している Office のバージョンに合わせて1つだけ選択してください。

また、インストールされる押印メニューは日本語版です。英語環境で用いる場合は押印メニューはインストールしないでください。Word および Excel 用の押印メニューを下記サイトからダウンロードして英語版をインストールしてください。

MS-Word 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_wordmenubar.html

MS-Excel 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_excelmenubar.html

注)1 台の PC を複数ユーザで用いる場合は、管理権限のある1ユーザで承認はんこをインストールしてください。Excel/Word Menubar のみ、それぞれのユーザでインストールしてください。

押印メニューアドインの配置先については「2-3. インストールされるファイルとフォルダー」を参照してください。

手順4) インストールフォルダーを指定します。

インストール先は任意に変更できますが、通常は変更する必要はありません。

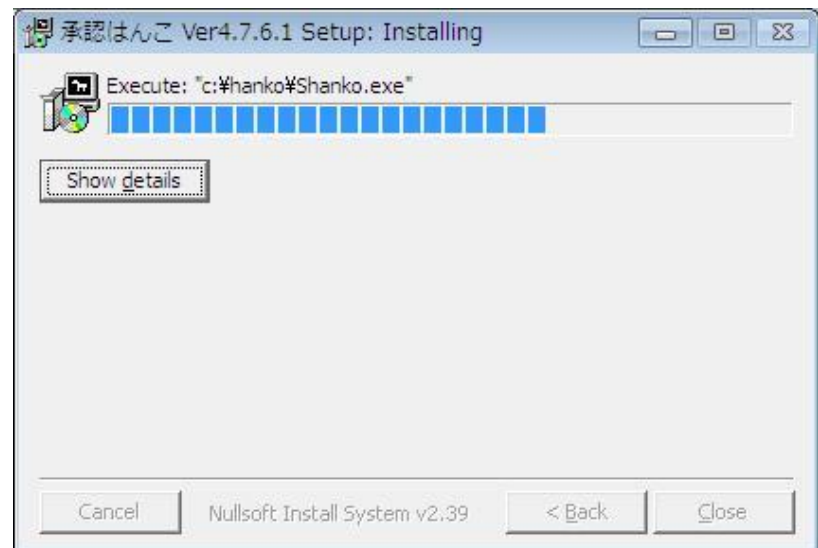
ボタン[Install]をクリックします。

(右図)

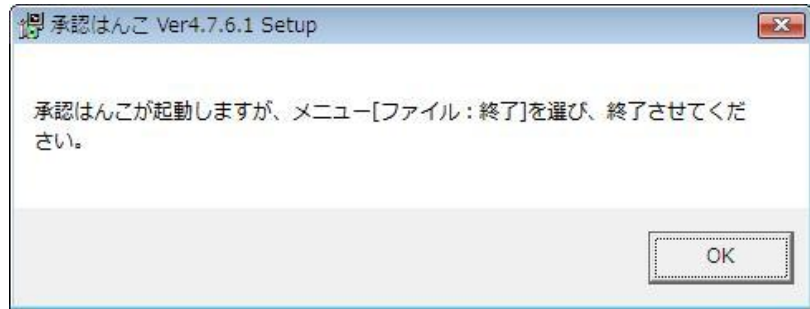


インストールが始まります。

(右図)

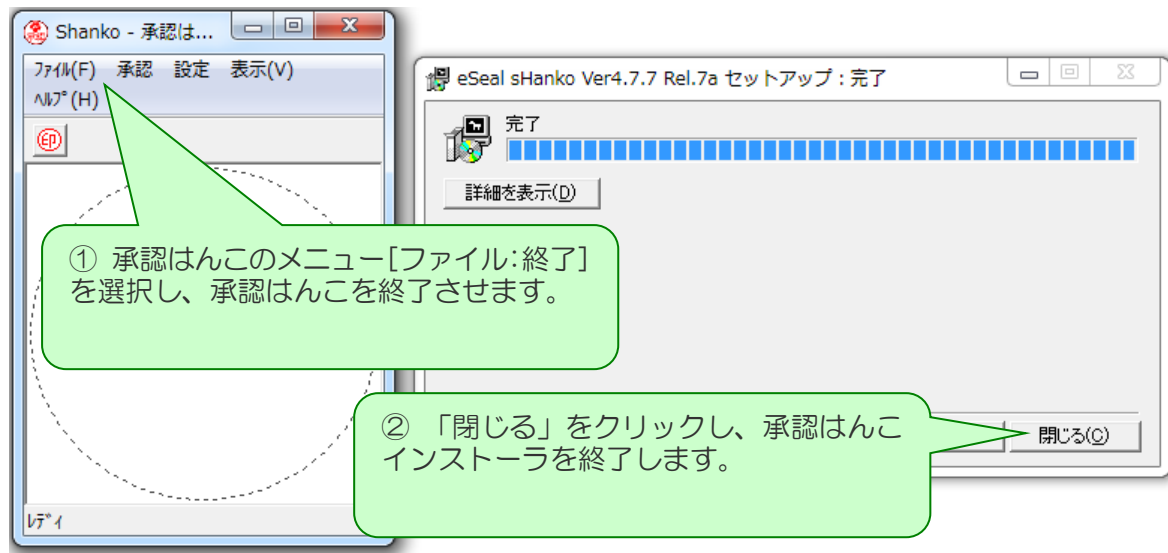


インストールが始まると承認はんこ 押印ツール (shanko.exe) が起動します。
(右図)

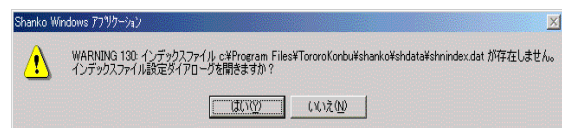


参考) 承認はんこが初めて起動された場合、承認はんこオブジェクト ID などの必要な情報がレジストリに書き込まれます。
管理権限がないとこの書き込みが失敗しますのでインストールは管理権限を持ったユーザで実行する必要があります。

手順4) メニュー「ファイル」→「終了」を選び、承認はんこを終了させます。



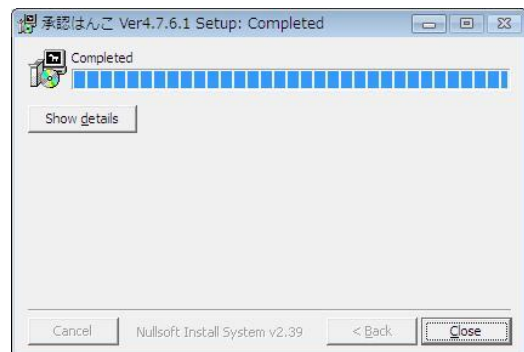
インデックスファイルが見つからない場合は警告が表示されます。ボタン[はい]をクリックし、インデックスファイルを選択します。詳しくは「2-3. インデックスファイルパスの設定」を参照してください。



Completed が表示されればインストールは終了です。

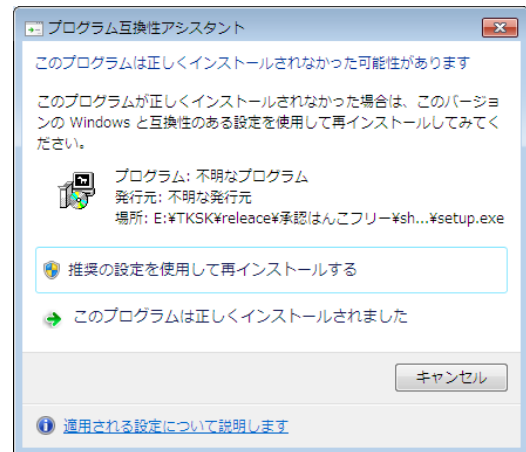
ボタン[Close]をクリックし、インストーラを終了します。

(右図)



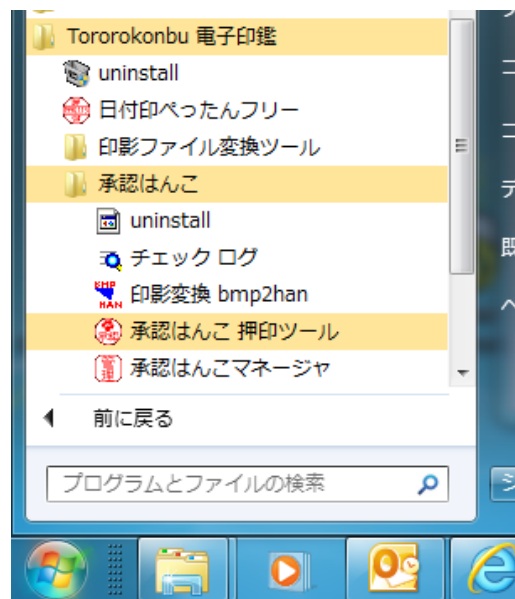
注意) Windows7/Vista の場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。
(右図)



インストールが終了すると、スタートメニューにインストールした実行モジュールが登録されています。

(右図)



次に、「2-3. Excel/Word 押印メニューの組み込み」に進みます。

参考) インストールが終了すると、インデックスファイルパスが パーソナルドキュメントフォルダ下の hanko.ini に書き込まれます。パーソナルドキュメントフォルダの場所は次の通りです。

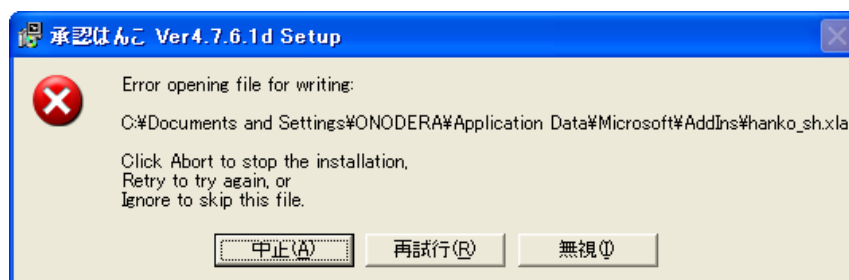
WindowsVista	C:\¥Users¥ユーザ名¥Documents
WindowsXP	C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥My Documents¥hanko.ini
Windows2000	C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥My Documents¥hanko.ini
Windows98	c:\¥My Documents¥hanko.ini

hanko.ini の例

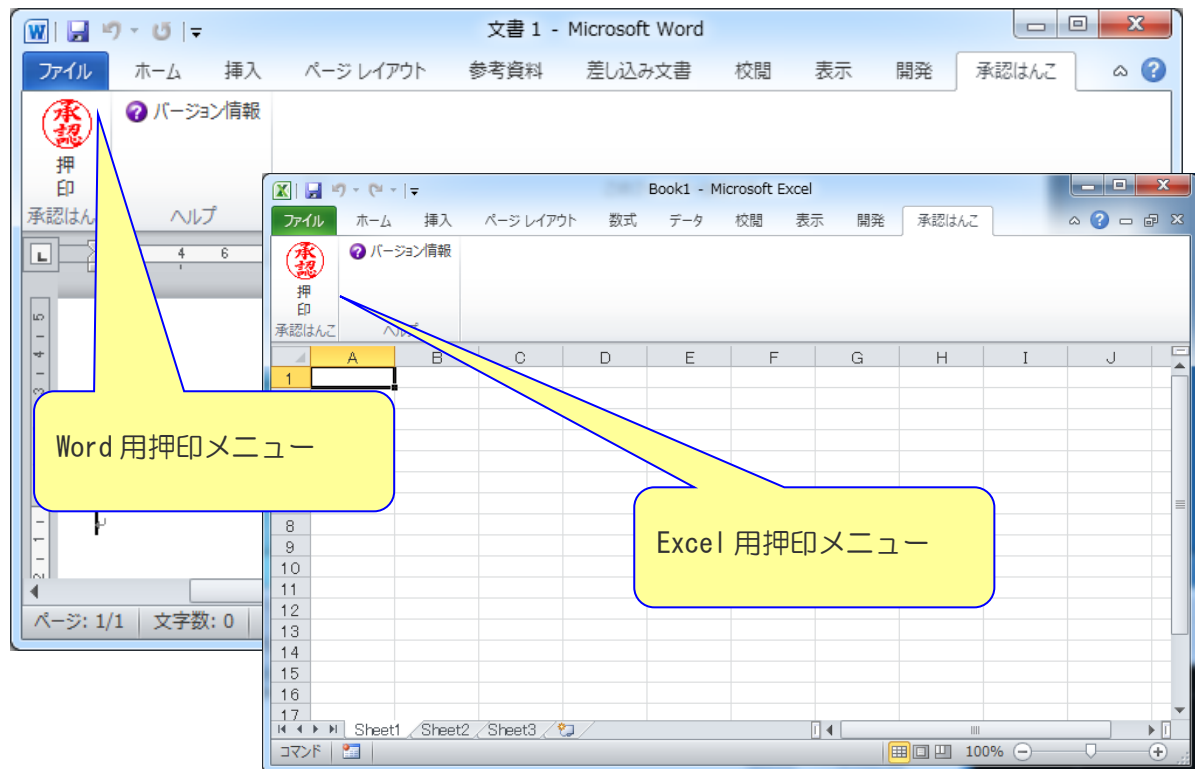
```
[MAIN]
SHankoIndexFile=C:\¥Documents and Settings¥ONODERA¥My Documents¥shdata¥shnindex.dat
HankoLogFile=C:\¥Documents and Settings¥ONODERA¥My Documents¥hanko.log
LogFormat=0
```

hanko.ini にはインデックスファイルパスなどが保持されています。

注) Excel あるいは Word を起動したままインストーラを実行すると上のエラーが表示されます。ボタン「中止」を選択し、Excel/Word を終了させ、インストーラを再実行させてください。



2-3. Excel/Word 押印メニューの組み込み



インストーラで、押印メニューを選んだ場合は Excel アドインマクロファイル および Word テンプレートファイル が次のフォルダーに配置されます。

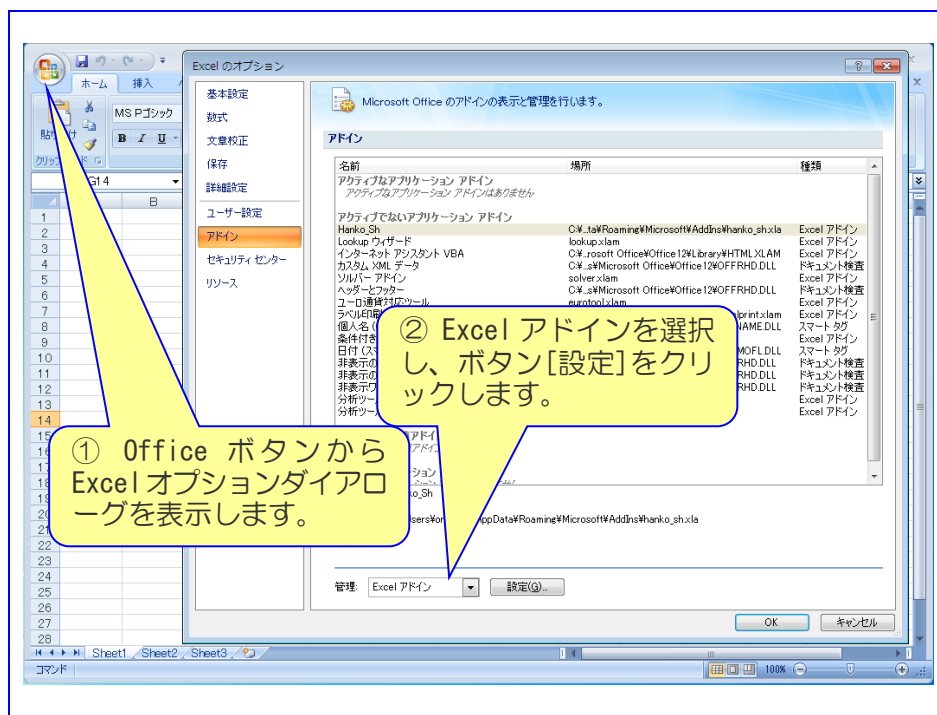
ファイル名	インストール先
Excel アドインマクロ e-SealMenu_sh.xla または e-SealMenu64_sh.xlam	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\AddIns</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns</p>
Word マクロ e-SealMenu_sh.dot または eSealMenu2007jpn_sh.dotm または eSealMenu2010jpn_sh.dotm	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\Word\STARTUP</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Word\STARTUP</p>

注意) 上記フォルダーは隠しフォルダーですのでエクスプローラ上で表示させる場合は「隠しフォルダーを表示する」の設定をしてください。

2-3-1. Excel メニューバーアドインマクロの組み込み

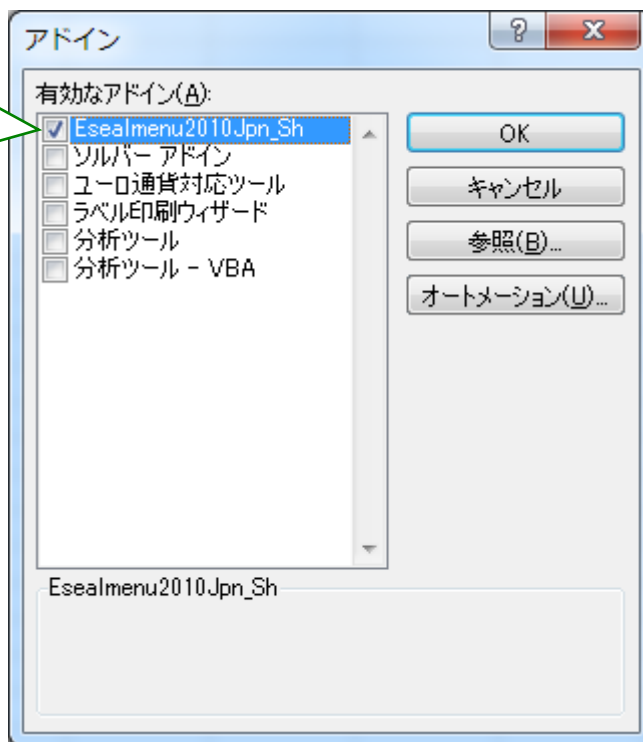
手順 1) Excel オプションダイアログを開きます。

Excel アドインを選択し、ボタン[設定]をクリックします。



Esealmenu**_Sh

にチェックを付けると押印メニューが表示されます。



アドインマクロダイアログを開き、Esealmenu**_sh にチェックを入れてください。
アドインマクロダイアログの表示方法について詳しくは「Excel」での使用ガイド：アドインマクロの組み込み」を参照ください。

2-3-2. Word メニューバーテンプレートの組み込み

Word については特に設定は必要ありません。

Exce/Word/PowerPoint 用押印メニューバーについて詳しくは下記ホームページからドキュメントをダウンロードしてご利用ください。

MS-Word 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_wordmenubar.html

MS-Excel 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_excelmenubar.html

MS-PowerPoint 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_ppointmenubar.html

2-4. インストールされるファイルとフォルダー

インストーラによりインストールされるファイルを下表に示します。

ファイル名	説明
shanko.exe	承認はんこの実行モジュール
shankmgr.exe	承認はんこ管理ツール

フォルダ名	説明
shdata	サンプルのインデックスファイル、印影ファイルが入っています。setup.taiken.exe の場合は印影ファイル 2000 姓の体験版が入っています。

フォルダー shdata および shdata2 内

ファイル名	説明
shnindex.dat	印影インデックスファイル（実習用サンプル）
Shnindex_kara.dat	空の印影インデックスファイル。実習終了後はこちらのファイルをご利用ください。
*.han	印影ファイル。印影ファイル登録キーは全て TAIKEN です。
tkprf_han_***.xml	プロファイル（パラメータが入っています。）

スタートメニュー

【WindowsVista および Windows7 の場合】

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Tororokonbu e-Seal\承認はんこ

【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\Documents and Settings\All Users\スタート メニュー\Programs\Tororokonbu e-Seal\承認はんこ

押印メニューアドインファイルについては「2-3. Excel/Word 押印メニューの組み込み」を参照してください。

2-5. インデックスファイルパスの設定

承認はんこの印影ファイルはインデックスファイルで管理しています。印影データをサーバで管理したい場合など、インデックスファイルパスの変更を行う必要が生じる場合があります。

インデックスファイルパスの確認/変更は承認はんこでも承認はんこ管理ツールでも、どちらでも行えます。設定変更方法について説明いたします。

2-4-1. 承認はんこによる設定方法

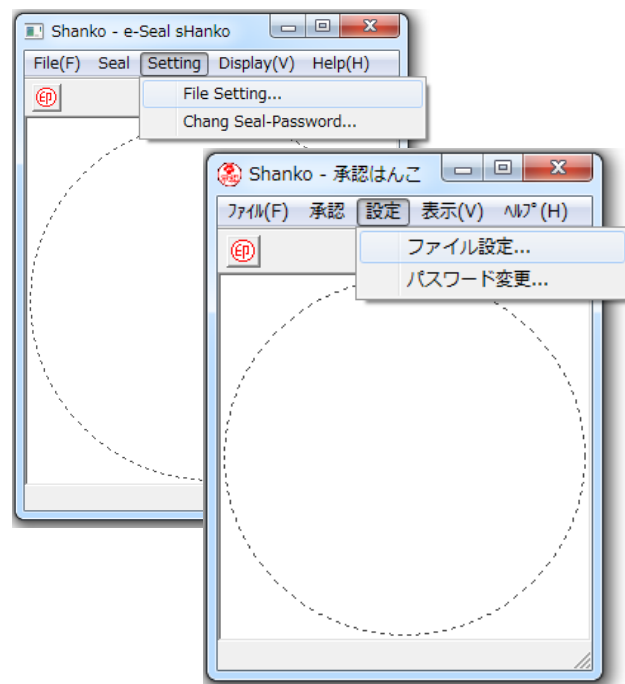
スタートメニューから「承認はんこ」を選択し、承認はんこを起動します。

【日本語環境】

承認はんこのメニュー [設定：ファイル設定...] を選択します。

【英語環境】

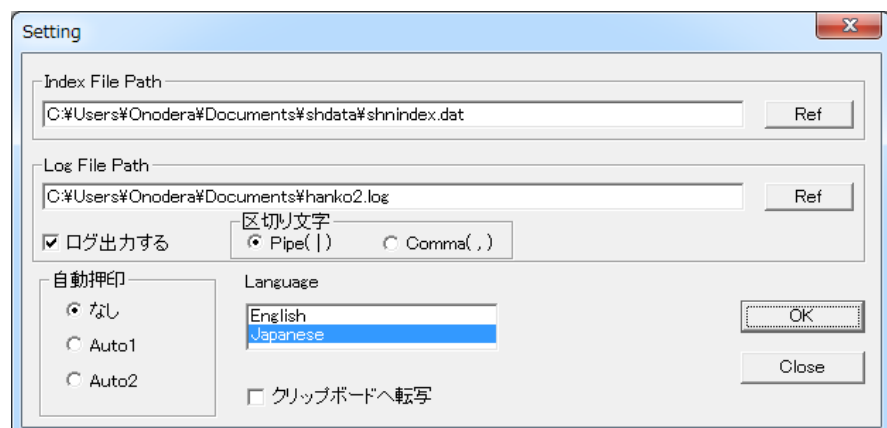
承認はんこのメニュー [Setting:File Setting...] を選択します。



ファイル設定ダイアログが開きます。

ボタン[Ref]を用いてインデックスファイルパスの設定変更を行います。

OKボタンをクリックし、承認はんこを終了します。

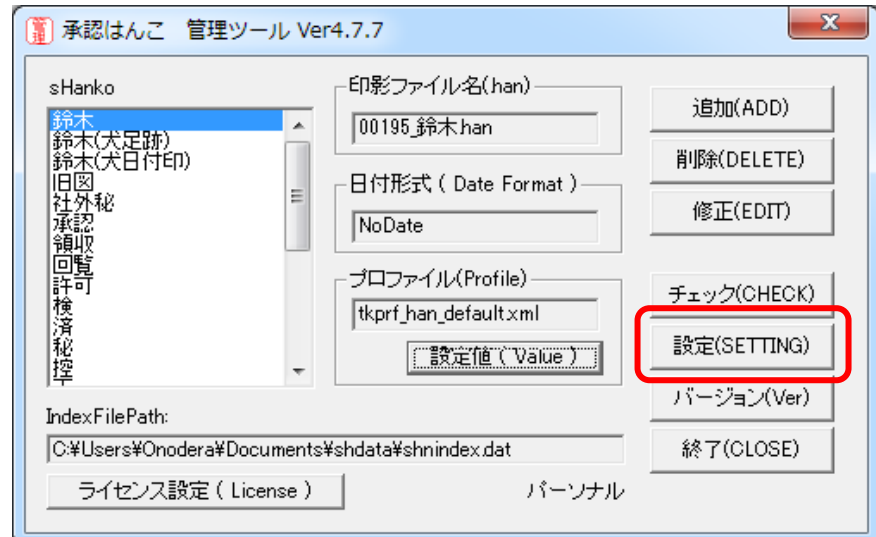


2-5-2. 承認はんこマネージャによる設定方法

承認はんこマネージャ（承認はんこ管理ツール shankomgr.exe）を用いるにはプロダクト ID の設定が必要になります。初めて 承認はんこ管理ツールを起動した場合は、プロダクト ID 設定ダイアログが自動的に開きますので、次章の「2-5. 承認はんこマネージャへのプロダクト ID の設定」を参照し、プロダクト ID を設定してください。

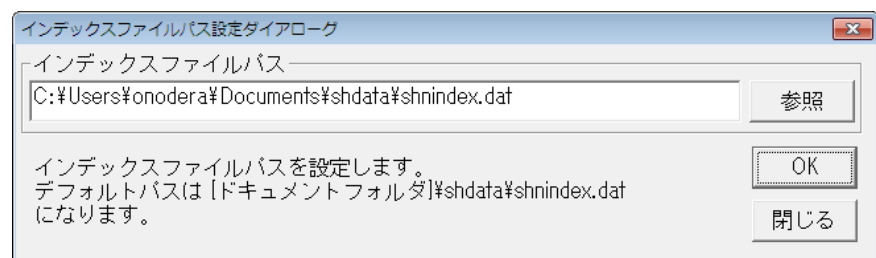
スタートメニューから「承認はんこマネージャ」を選択し、承認はんこマネージャを起動します。

承認はんこマネージャのメインダイアログ上のボタン「設定」をクリックします。



インデックスファイルパス設定ダイアログが開きます。

ボタン[参照] を用いてインデックスファイルパスの設定変更を行います。



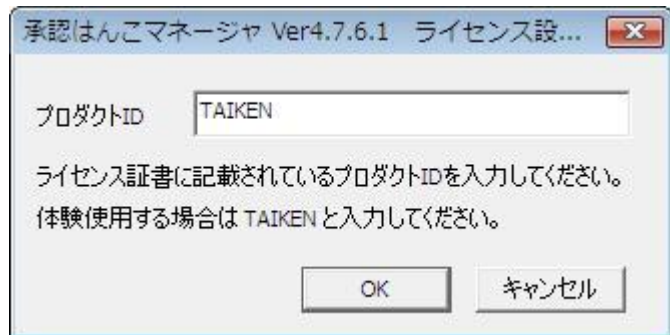
OKボタンをクリックし、承認はんこマネージャ を終了します。

2-6. 承認はんこマネージャへのプロダクト ID の設定

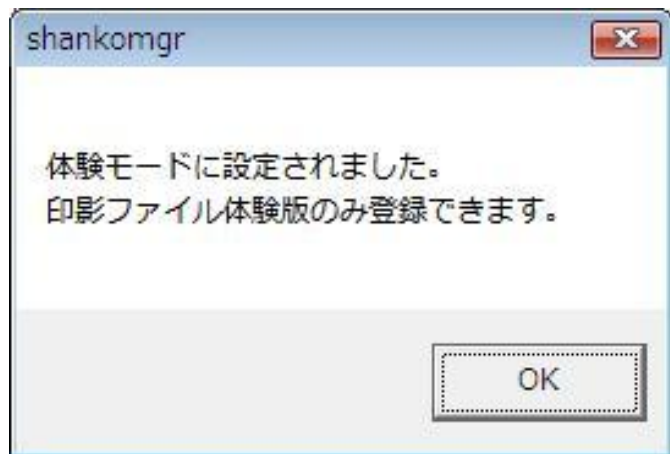
承認はんこ管理ツール 承認はんこマネージャへプロダクト ID を設定します。

手順 1) 承認はんこマネージャを起動します。
初めて承認はんこマネージャを起動した場合は、ライセンス設定ダイアログが表示されます。(右図)

手順 2) ライセンス証書に記載されているプロダクト ID を入力します。
体験使用する場合は TAIKEN と入力します。
ボタン[OK]をクリックします。(右図)



手順 3) プロダクト ID に TAIKEN を設定すると体験モードとなります。
体験モードでは体験版の印影ファイルのみが登録できます。
企業ユーザ様、パーソナルユーザ様用の印影ファイルは登録できませんのでセキュリティが保たれます。(右図)



2-7 アンインストール

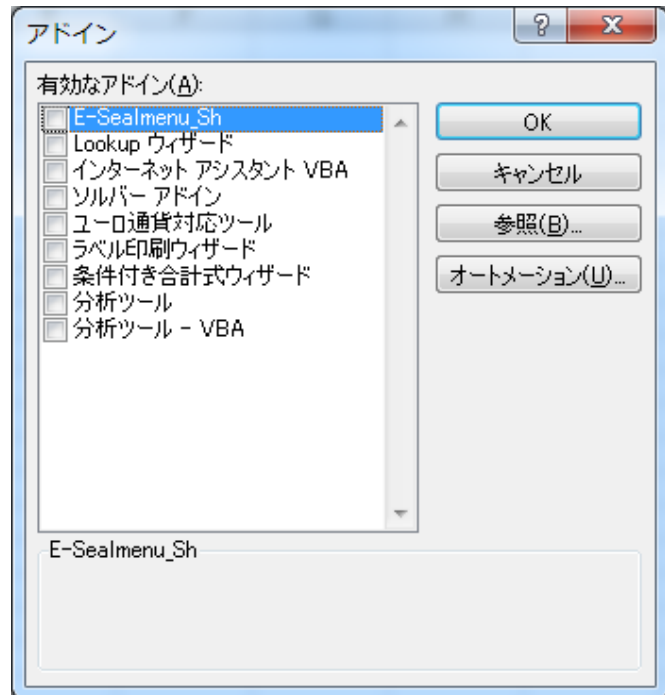
アンインストールはアンインストーラで行います。
ただし、Excel 用の押印アドインマクロが組み込まれている場合はアンインストーラを実行する前にアドインマクロを無効にします。

参考) WORD 用のマクロについては特に事前に行うことはありません。

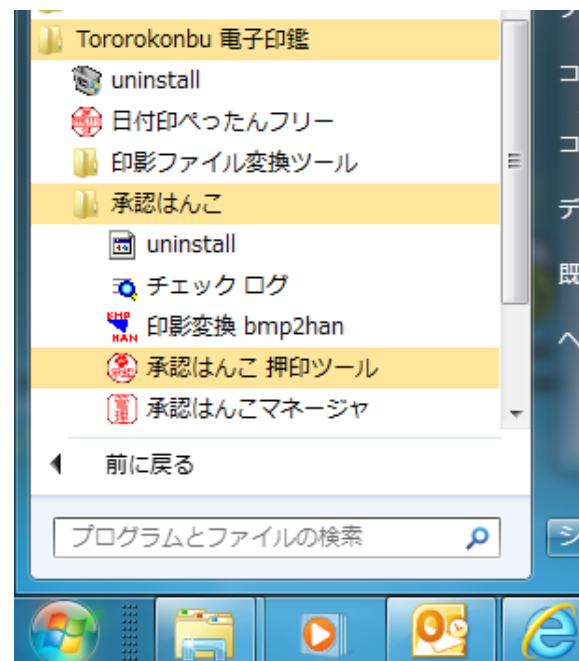
Excel を起動し、アドインダイアログを表示します。

アドイン E-Sealmenu_sh のチェックをはずし、ボタン[OK]をクリックします。

「はんこメニューを削除しました。」と表示されます。

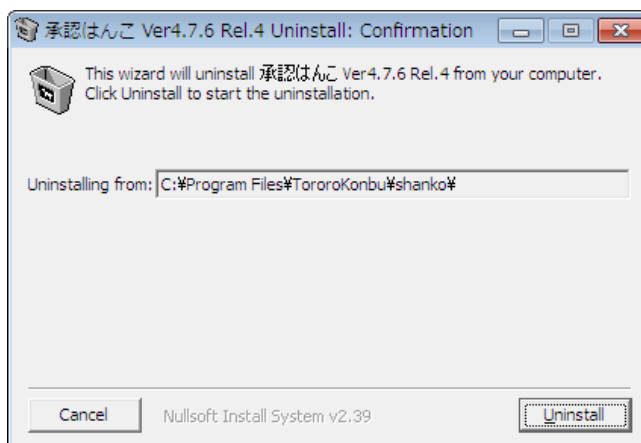


アンインストールはスタートメニュー[Tororokonbu 電子印鑑 : 承認はんこ : uninstall]を選択すると実行されます。
(右図)



アンインストーラが起動したらボタン
[Uninstall] をクリックします。

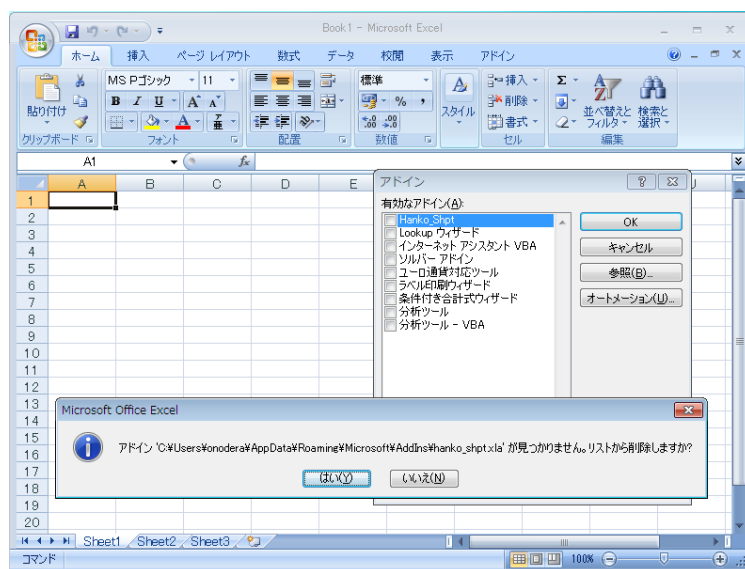
(右図)



承認はんこのインストーラがインストールしたファイルおよびレジストリに登録した情報が削除されます。ただし、インストールフォルダー内のデータフォルダー shdata は削除されません。ユーザが登録した印影データが誤って削除されないようにするためです。データフォルダー shdata の削除はエクスプローラ上で手動で行ってください。

注) スタートメニューにメニュー [Tororokonbu 電子印鑑] が残ります。承認はんこがインストールされている場合があるので残してあります。不要であれば、マウス右ボタンクリックで表示されるポップアップメニューから [削除] を選択して、削除してください。

承認はんこがレジストリに登録する情報については「Appendix C. レジストリに登録される承認はんこオブジェクト」を参照してください。



Excel のアドインマクロ eSeal_** のチェックをはずさずにアンインストーラを実行すると、Excel 起動時に上のエラーが表示されます。ボタン「はい」をクリックして削除してください。詳しくは「Appendix D. アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化」を参照してください。





実習 1

実習 1-1. 承認はんこのインストール

setup.exe を実行し、「承認はんこ」をインストールしてください。

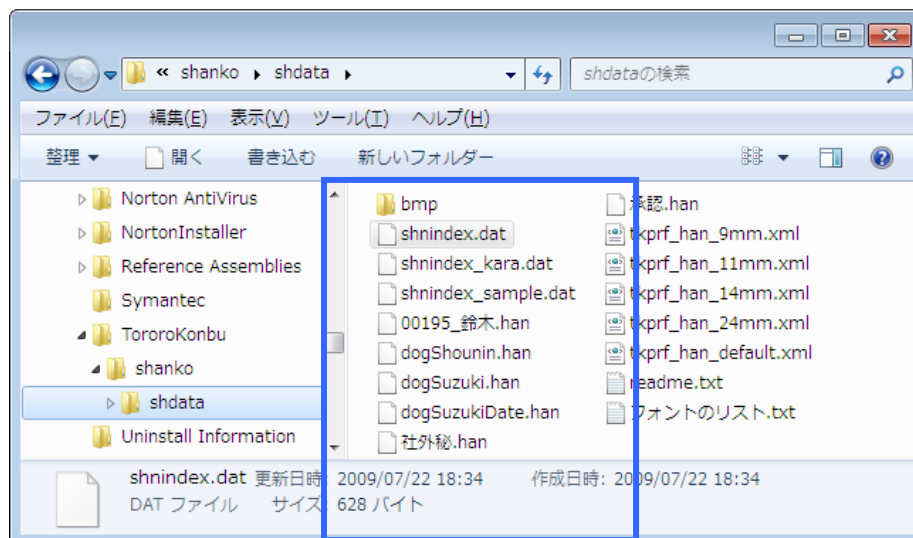
実習 1-2. サンプル承認印

承認はんこ に添付されているインデックスファイル shindex.dat に初期登録されている承認印は次のとおりです。以後、このサンプルを用いて実習を進めていきます。

承認印名	イメージ	パスワード	印影ファイル名	プロファイル
鈴木		TEST	00195_鈴木.hanx	tkprf_han_default.xml
鈴木(犬足跡)		TEST	dogSuzuki.hanx	tkprf_han_default.xml
鈴木(犬承認印)		TEST	dogSuzukiDate.hanx	tkprf_han_date_center.xml
ビジネス印 20種	 など	TEST	E**.hanx	tkprf_han_default.xml

「2-4. インデックスファイルパスの設定」を参考にインデックスファイルのパスを確認し、同じフォルダーの中に上記の印影ファイルが存在していることを確認してください。

デフォルトのパスは “ドキュメントフォルダー¥shdata” になります。



3. 押印

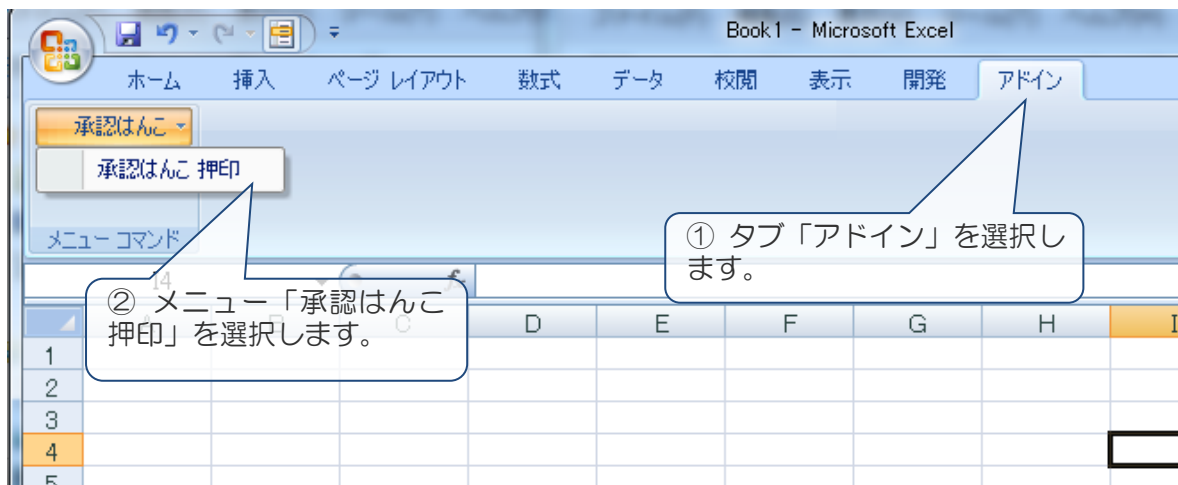
MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「承認はんこ」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

Excel/Word 用の押印メニューを用いて押印する方法と、押印メニューを用いない方法（手動）について説明いたします。

3-1. 承認はんこオブジェクトの挿入

3-1-1. Excel 押印メニューを用いての Excel への押印

Excel を起動します。

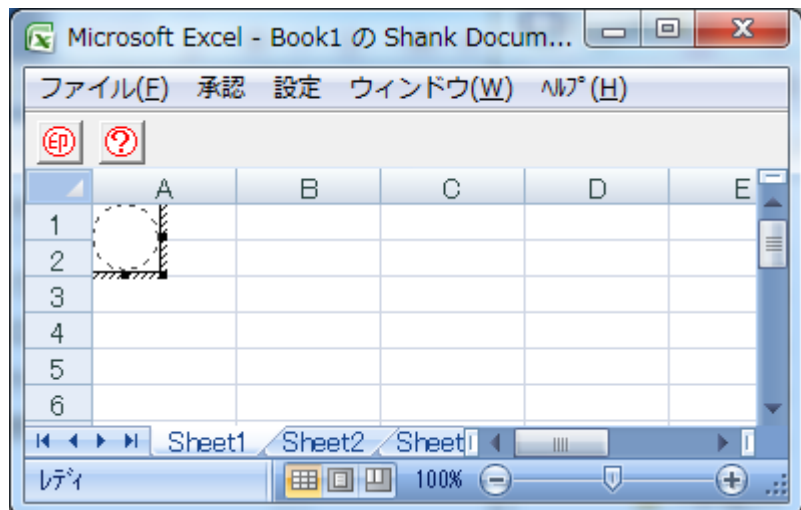


メニュー「承認はんこ 押印」を選択すると押印されます。

「承認はんこオブジェクト」が挿入されます。

承認はんこオブジェクトはアクティブとなっています。

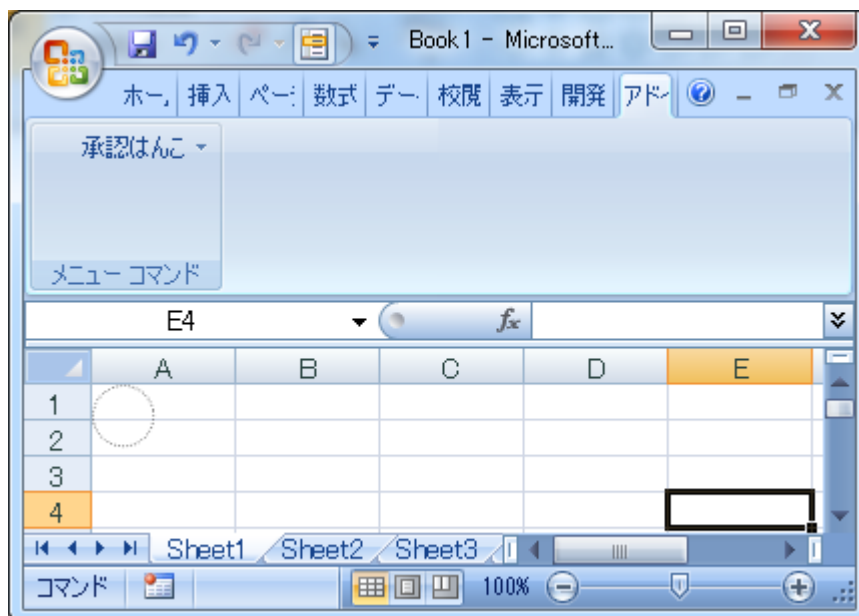
Excel のメニュー、ツールバーが承認はんこのメニューに入れ変わっています。



オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトのアクティブな状態は解除されます。

メニューはExcel のメニューに戻っています。

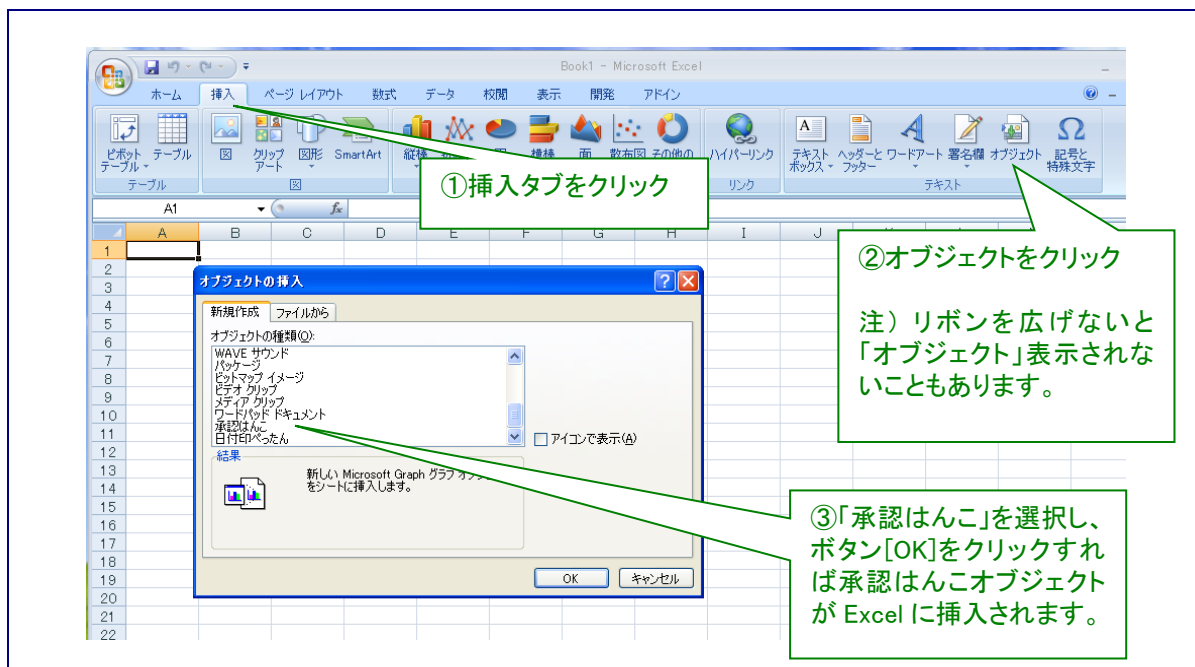
承認印の印影は未押印（押印ダイアログを用いて押印していない状態）のため破線になっています。



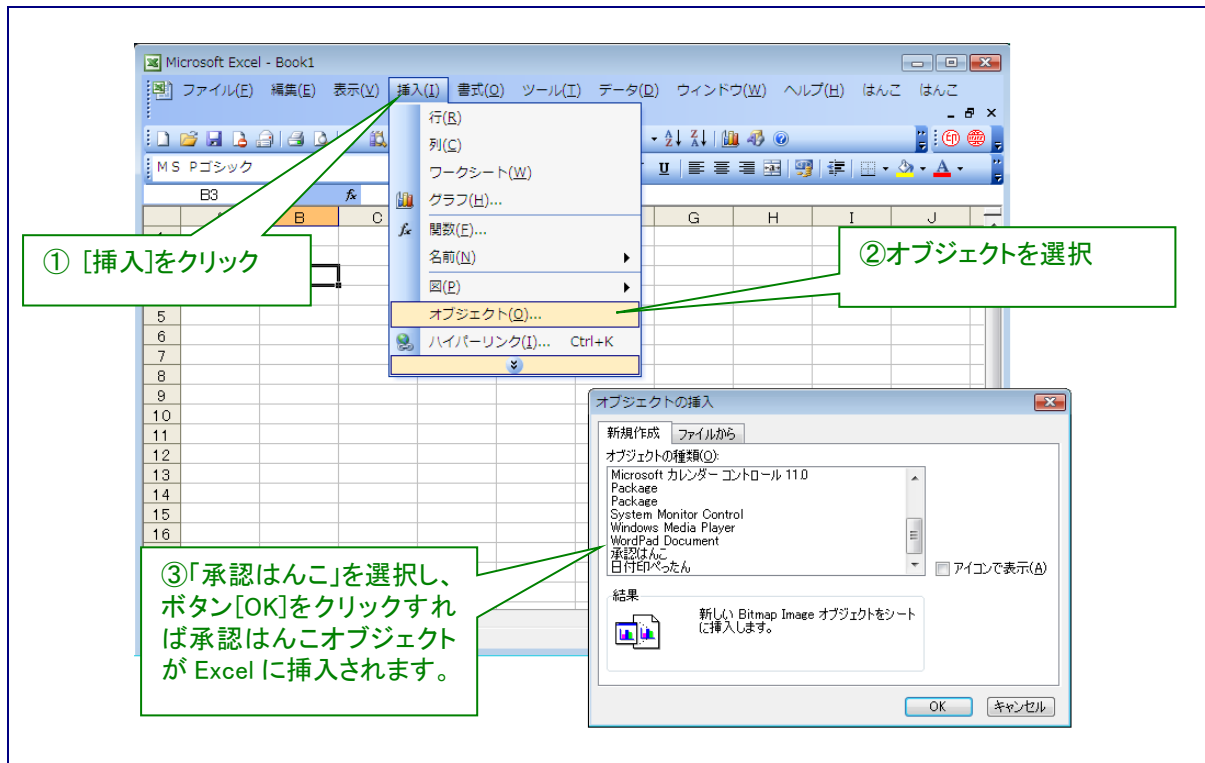
3-1-2. 手動での Excel への押印

Excel/Word には押印メニューが用意されていますが、一太郎など押印メニューが用意されていないアプリケーション上で押印する場合は手動で押印します。

Excel を例に説明いたしますが、他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じになります。



Excel2007 に押印する例。オブジェクトの挿入ダイアログに「承認はんこ」がリストされていることを確認してください。



Excel2003 に押印する例。

手順1) MS-Excel、MS-Word など OLE 対応アプリケーションを起動します。

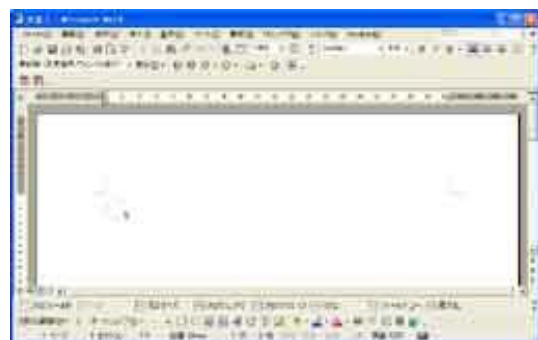
手順2) タブ/メニュー「挿入」->「オブジェクト」を選択します。

手順3)「オブジェクトの種類」リストボックスから日本語環境では「TororoKonbu 承認はんこ」、英語環境では「TororoKonbu sHanko」を選び、OKボタンをクリックします。

「承認はんこオブジェクト」が挿入されます。




Word2003 の場合：承認はんこオブジェクトが挿入され、アクティブとなっています。メニューが承認はんこのメニューに入れ変わっています。



Word2003 の場合：オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトのアクティブ状態は解除され、メニューはMS-Word のメニューに戻ります。承認印の印影は未押印のため破線になっています。

3-2. 押印ダイアログ

「承認はんこ」オブジェクトがアクティブな状態ではメニュー及びツールバーは承認はんこにメニュー/ツールバーに入れ替わっています。
 メニュー「承認」→「承認押印」を選択するか、ボタン  をクリックすることにより押印ダイアログが表示します。

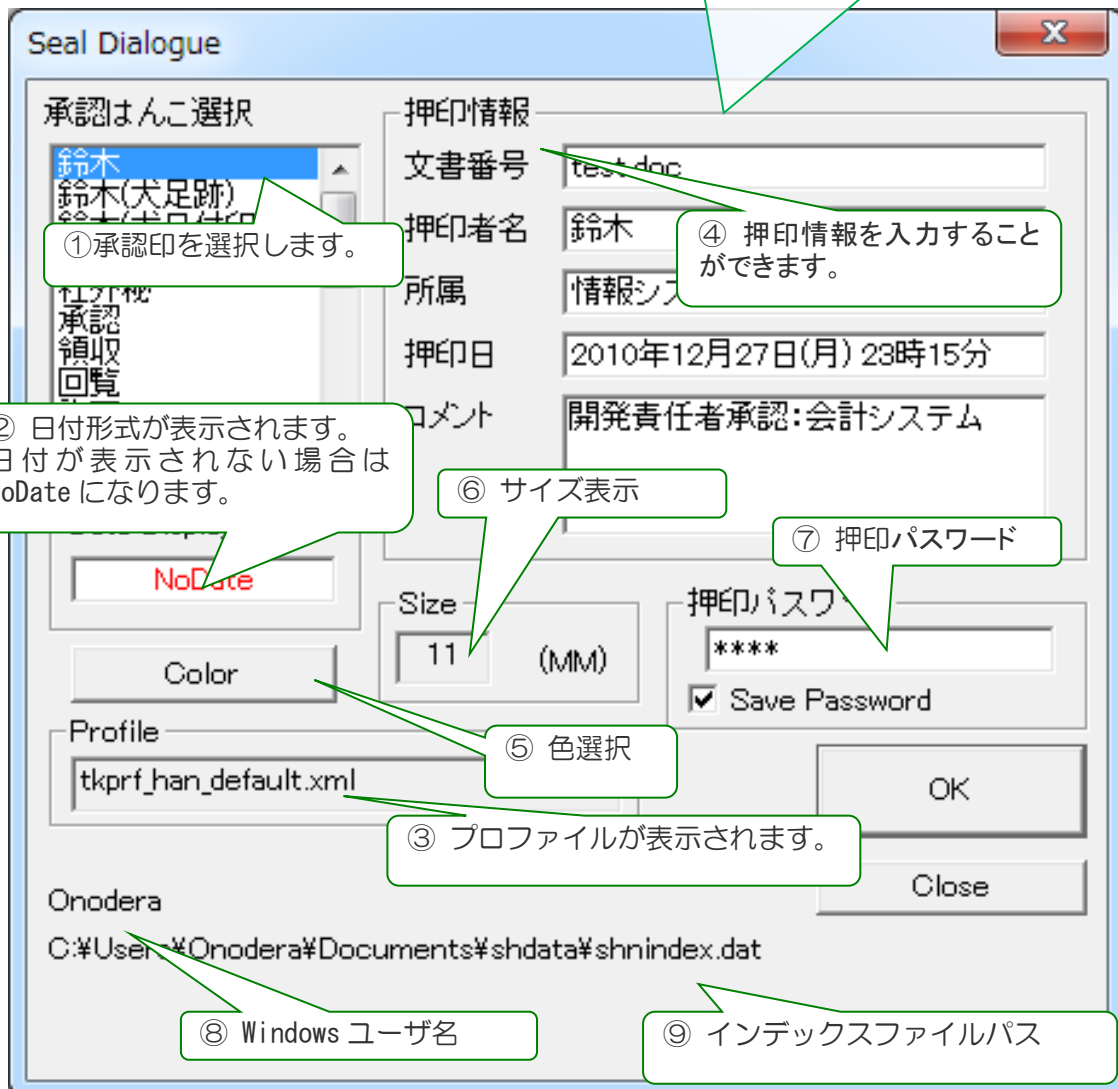
押印情報

文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報はぺったんオブジェクト（OLEオブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。

承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したものが表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。

承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。

Excel/Word の場合は文書番号にファイル名が初期設定されます（押印メニューバーを用いた場合のみ）。

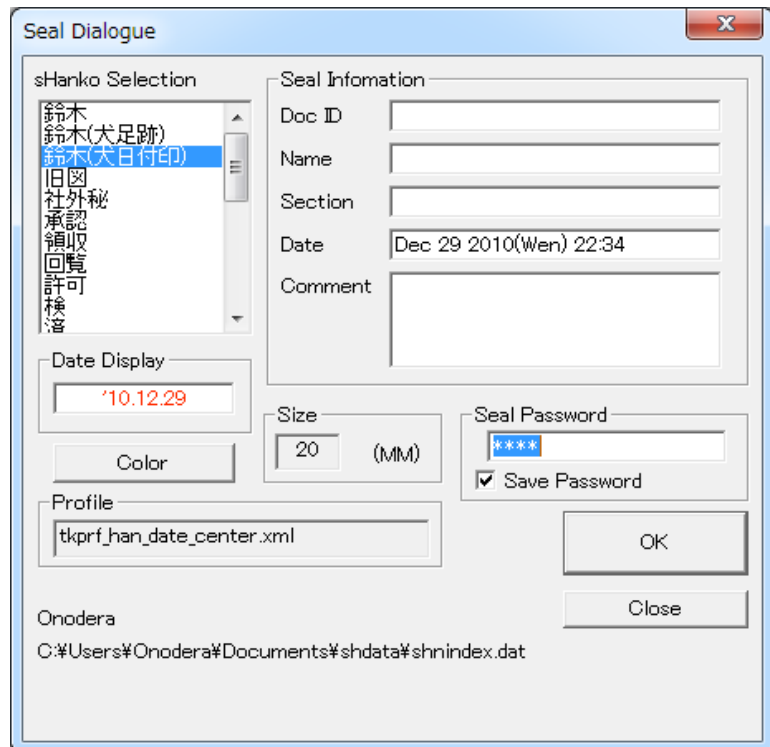


The image shows the 'Seal Dialogue' window with the following fields and callouts:

- 承認はんこ選択**: A list box containing '鈴木', '鈴木(犬足跡)', and others. Callout ① points to it: '承認印を選択します。' (Select the approval seal).
- 文書番号**: A text field containing 'test.doc'. Callout ④ points to it: '押印情報を入力することができます。' (You can enter the seal information).
- 押印者名**: A text field containing '鈴木'.
- 所属**: A text field containing '情報システム'.
- 押印日**: A date/time field containing '2010年12月27日(月) 23時15分'.
- コメント**: A text field containing '開発責任者承認:会計システム'.
- ② 日付形式が表示されます。日付が表示されない場合はNoDateになります。' (The date format is displayed. If the date is not displayed, it becomes NoDate.)**: Points to the 'NoDate' button.
- ③ プロファイルが表示されます。' (The profile is displayed.)**: Points to the 'Profile' field containing 'tkprf_han_default.xml'.
- ⑤ 色選択**: Points to the 'Color' button.
- ⑥ サイズ表示**: Points to the 'Size' field containing '11 (MM)'.
- ⑦ 押印パスワード**: Points to the '押印パスワード' field containing '****' and the 'Save Password' checkbox.
- ⑧ Windows ユーザ名**: Points to the 'Onodera' field containing 'C:\User*Onodera\Documents\shdata\shnindex.dat'.
- ⑨ インデックスファイルパス**: Points to the same field as ⑧.

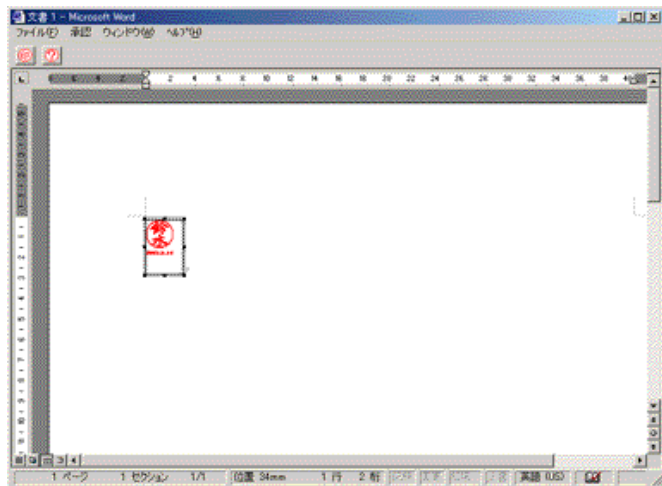
	項目	説明
①	承認印選択	承認印を選択します。承認はんこインデックスファイル(shnindex.dat)に登録されている印影名がリストされます。 表示の順番はインデックスファイルshnindex.datに登録されている順番です。インデックスファイル shnindex.dat をメモ帳などで編集することによりリスト順番を変更することができます。
②	日付形式	日付形式が表示されます。文字の色で押印されます。
③	プロファイル	利用されるプロファイルが表示されます。プロファイルの選択は管理ツールで行います。承認ダイアログでは変更できません。
④	押印情報	文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報ははんこオブジェクト（OLEオブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したものが表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。
⑤	Color	赤または黒が選択できます。
⑥	サイズ	プロファイルに設定されているサイズが表示されます。押印ダイアログでは変更できません。変更する場合はプロファイルを変更します。
⑦	押印パスワード	押印パスワードを入力します。 パスワードは大文字/小文字を区別しません。小文字で入力すると自動的に大文字に変換されます。 また、パスワードを保存をチェックしておけば、次の押印時にはパスワードが自動的に挿入されます。
⑧	ログイン名	Windows へのログインユーザ ID が表示されます。この ID は承認はんこオブジェクトへ押印時の情報として格納されます。
⑨	インデックスファイルパス	インデックスファイルパスが表示されます。

英語環境では右図のようになります。

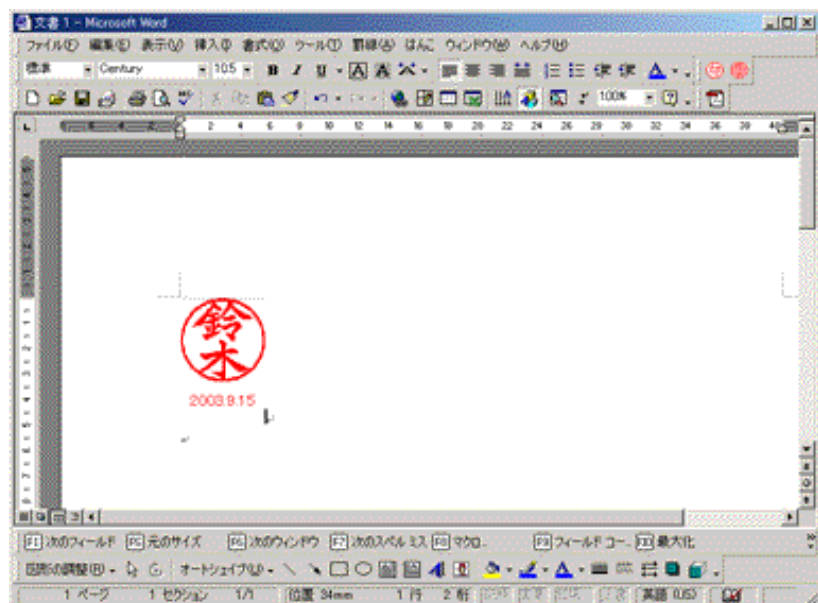


押印ボタンをクリックすれば
押印されます。

押印した状態ではオブジェク
トはアクティブなままになっ
ています。
メニューは承認はんこのもの
になっています。

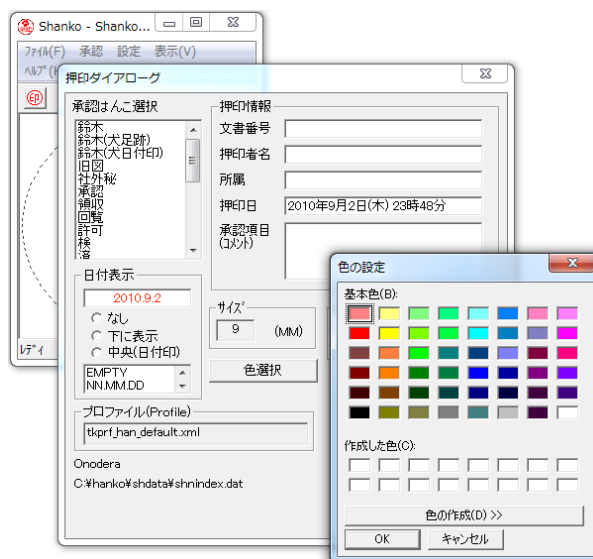


オブジェクト以外の部分
をクリックすることによ
り承認はんこオブジェク
トはアクティブでなくな
り、メニューは MS-Word
のものに戻ります。

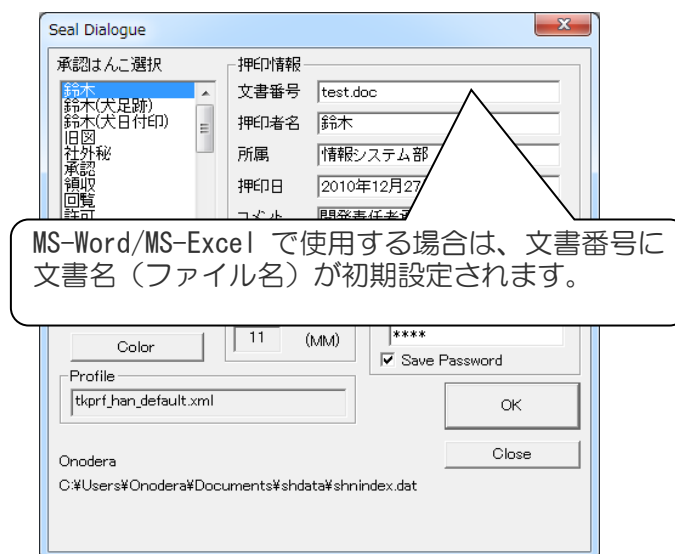


3-2-1. 色の設定ダイアログ

ボタン[Color]をクリックすると「色の設定」ダイアログが開き、印影の色を任意に設定できます。印影の色のデフォルト値は 朱肉色 RGB(255, 44, 1) です。



3-2-2. 文書番号への Excel/Word 文書名の初期設定



MS-Word/MS-Excel 用押印メニューバーを用いて押印する場合、押印ダイアログ（Seal Dialogue）の文書番号にドキュメント名が初期設定されます。

MS-Word 押印メニューバー Ver1.4.3 及び MS-Excel 押印メニューバー Ver1.3.5 は押印ボタンをクリックした際にドキュメントフォルダー下の hanko. ini に文書名を出力します。

hanko. ini の例

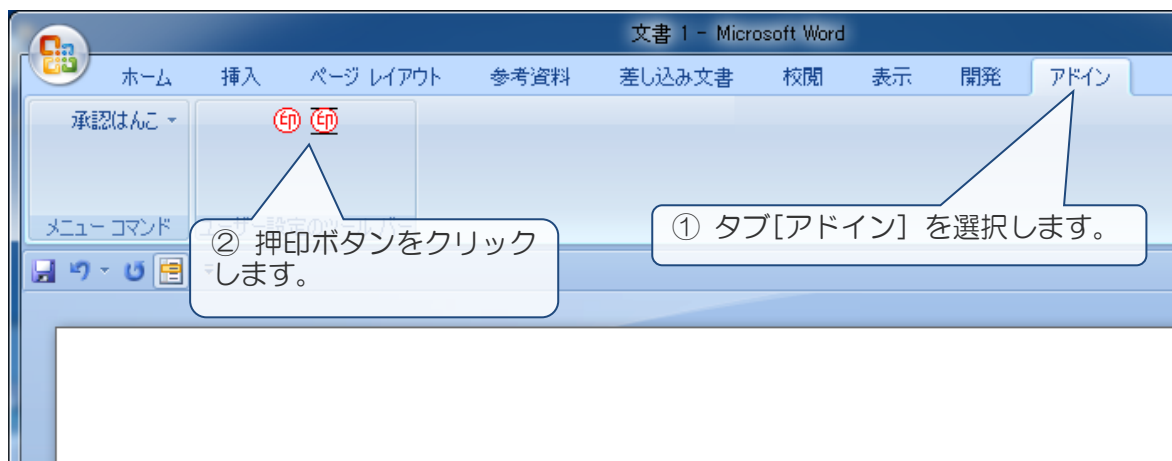
```
[Common]
DocumentNo=受注管理 2010. xls
```

承認はんこ はこの情報を読み込み、押印ダイアログの文書番号に初期値設定します。


実習2. 押印

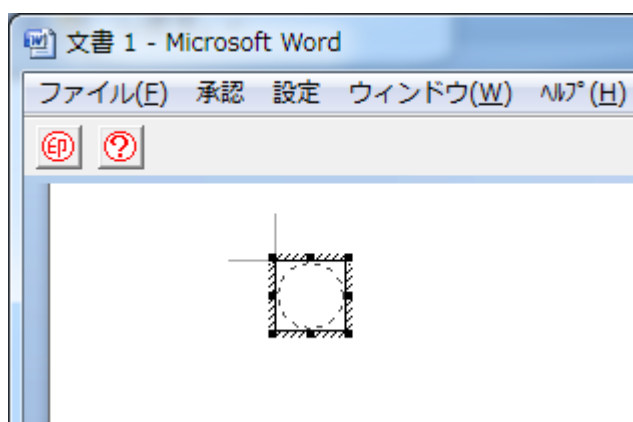
承認はんこにサンプルとして標準添付されているインデックスファイル shnindex.dat を用いて、「鈴木」の承認印を押印します。今度は Word で行ってみましょう。

手順1) MS-Word を起動します。



手順2) タブ「アドイン」を選択し、押印ボタンをクリックします。(上図)

手順3) メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン をクリックします。



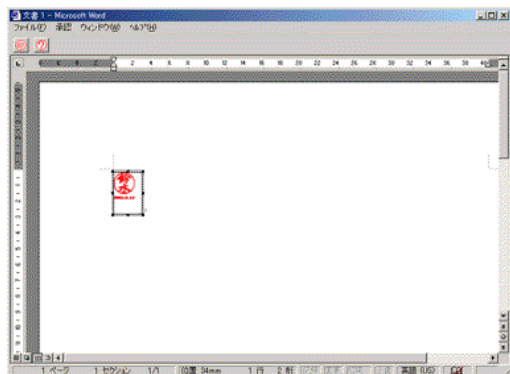
承認ダイアログが開きますので、承認印選択リストから「鈴木」を選択し、承認情報(文書番号、承認者名、所属、コメント)を適当に記入します。日付は自動的に入力されます。パスワードには“TEST”を入力します。

手順4) 押印ボタンをクリックします。
押印ダイアログは閉じ、押印されます。
承認はんこオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD[®] のメニュー[®] に戻ります。

以上で押印についての説明は終わりです。問題なく押印できましたでしょうか。
次は、押印時に入力した承認情報を確認します。

手順5) この文書を適当な名前前で保存して、MS-WORD を一旦終了します。

4. 押印情報の確認




押印情報を確認するためには承認はんこオブジェクトをアクティブにする必要があります。



押印情報が表示されます。

承認はんこオブジェクトには押印情報が保持されています。この押印情報を確認する機能が承認はんこには備わっています。

手順1) 承認はんこオブジェクトをダブルクリックし、アクティブにします。(図 4-1)

手順2) メニュー「承認」→「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。
押印情報確認ダイアログが開き、押印時に入力した情報が確認できます。(図 4-2)

また、押印に使われたコンピュータの名前、押印時の Windows ログインユーザ ID も確認できます。

ノート) 承認はんこオブジェクトを他の文書からコピーしてきても、文書番号が違うので不正が見抜くことができます。また、押印に使われた承認はんこのバージョン、ライセンス ID もオブジェクトに保持され、確認できますので正規ライセンスを購入していないユーザによる押印と区別ができ、セキュリティは守られます。なお、ライセンス ID には企業名を設定することができます。

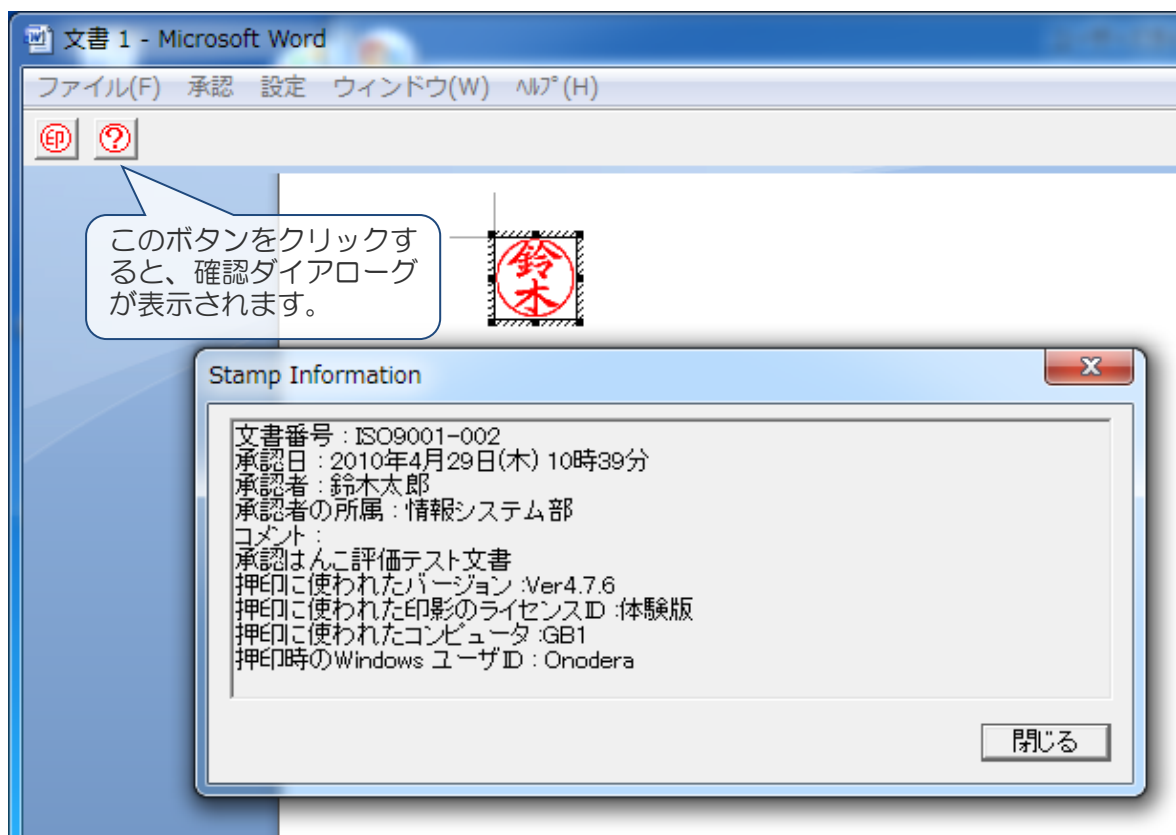
実習3. 押印情報の確認

実習2で挿入した承認はんこオブジェクトの承認情報を確認します。

手順0) 実習2で保管した WORD 文書を開きます。

手順1) はんこオブジェクトをダブルクリックします。承認印オブジェクトがアクティブになります。

メニュー及びツールバーボタンは承認はんこのものに入れ替わっています。



手順2) メニュー「承認」→「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。

承認確認ダイアログが開き、実習2で挿入した承認情報が確認できます。(上図)

手順3) ボタン「Close」をクリックし、押印情報ダイアログを閉じ、Word を終了します。

5. インデックスファイル shnindex.dat と shn ファイル

承認はんこの印影はインデックスファイル(デフォルトファイル名 shnindex.dat) と承認はんこファイル(拡張子 .shn)、および印影ファイル(拡張子 .han) とで管理されます。

参考)このインデックスファイルはユーザ毎に作成することもできますし、グループ毎に作成することもできます。つまり、1ユーザ1インデックスファイルでも、複数ユーザを1つのインデックスファイルにまとめて管理することもできます。インデックスファイルは INI 形式のテキストファイルです。メモ帳などで開いて内容を確認することができます。

インデックスファイルの例

```
[MAIN]
Number=23
Hanko0000=鈴木
Hanko0001=鈴木(犬足跡)
Hanko0002=鈴木(犬日付印)
Hanko0003=旧図
Hanko0004=社外秘
.
.
.

[鈴木]
Password=TOHQ[I
Data=<Shnfile>鈴木.shn</Shnfile><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>TAIKEN</HanKey>
Hash=#fKnEv

[旧図]
Password=TOHQ[I
Data=<Shnfile>旧図.shn</Shnfile><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>TAIKEN</HanKey>
Hash=#I3jcN
```

参考) Hash は 承認はんこ ver4.7.8 rel.3 から追加されています。以前のバージョンにはありません。

shn ファイルの例

```
<Han><File>00195_鈴木.han</File><Key>NcNvNh</Key></Han><Profile>tkprf_han_default.xml</Profile>
<Date><Format>'YY.MM.DD</Format>
<Font><Name>MS ゴシック</Name><B>0</B><Size>20</Size></Font></Date>
```

参考) 青字/斜体部分は VER4.7.7.4 - VER4.7.7.7 で追加されました。

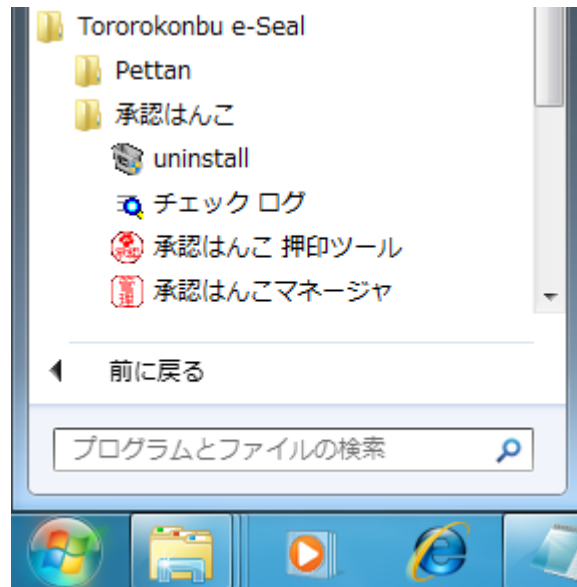
これらのファイルはテキストファイルですのでメモ帳などで開くことはできますが編集はできません。承認はんこ管理ツール shankmgr.exe を用いる以外の方法でこれらのファイルを書き換えるとセキュリティエラーとなり押印できません。

6. 承認印の登録、削除、修正

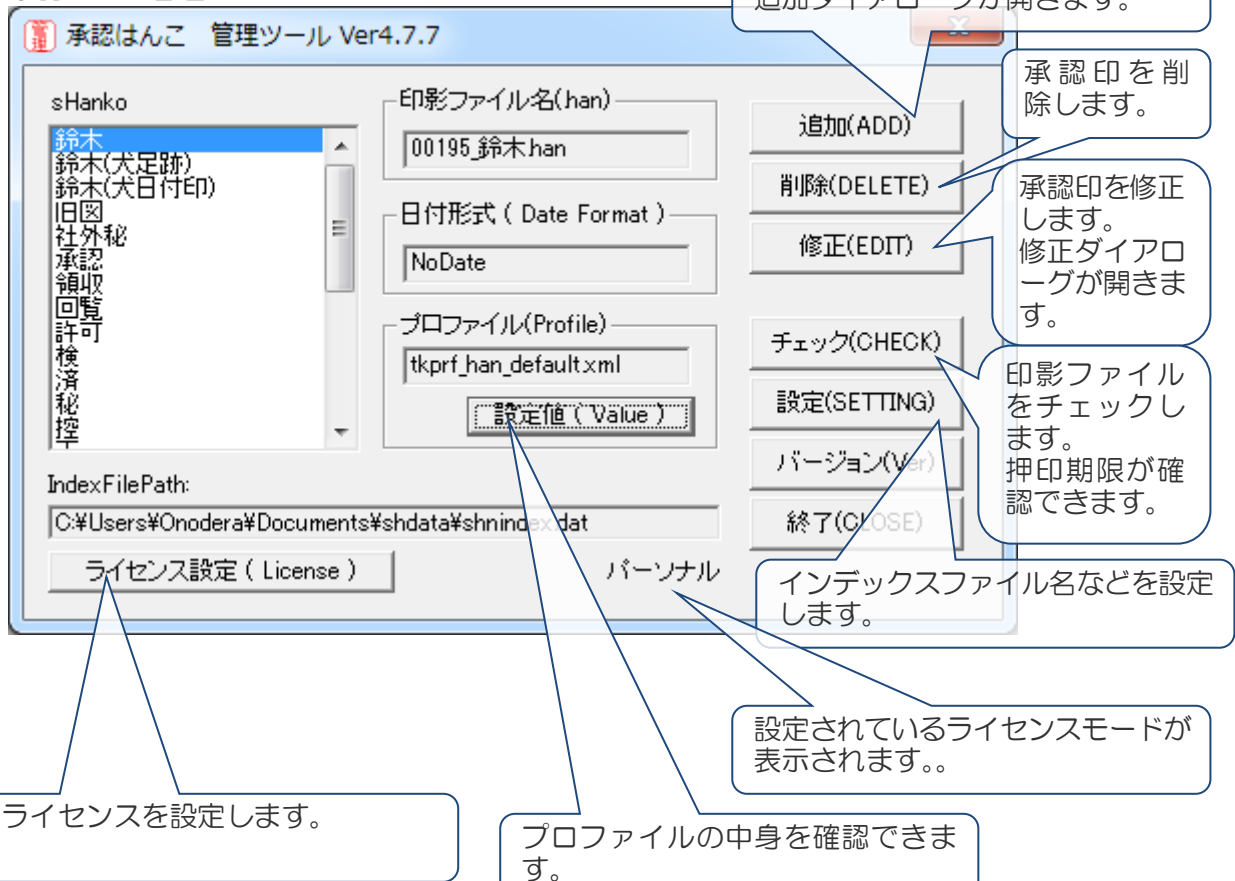
承認印の登録、削除、修正は承認はんこ管理ツール(shankmgr.exe)で行います。

6-1. 管理ツール 承認はんこマネージャ shankmgr.exe の起動

手順1) Windows のスタートメニューから「承認はんこマネージャ」を選択し、承認はんこ管理ツールを起動します。



承認はんこ管理ツール



6-2. 承認印の追加

承認印を新たに登録するにはボタン「追加 (Add)」をクリックします。

追加は次の2ステップで進めます。

ステップ1 印影ファイルの読み込み

ステップ2 登録

ボタン[Ref]を用いて印影ファイルを設定します。

6-2-1. ステップ1 印影ファイルの読み込み

ステップ1で印影ファイルを設定し、ボタン[次へ >>]をクリックするとステップ2が開きます。

参考) 印影ファイルには2種類あります。バイナリー形式の印影ファイル(拡張子 han) と xml 形式の印影ファイル(拡張子 hanx) があります。
従来のバージョンではバイナリー形式の印影ファイル(拡張子 han) のみ使用可能でしたが、承認はんこ Ver4.8.0 からはバイナリー形式と xml 形式の両方に対応できるようになっております。

追加 ステップ2

承認はんこ名
鈴木(日付)

①任意の文字列を入力してください。漢字も可。

押印パスワード
TEST

②初期パスワードを設定します。パスワードは半角英数字10文字以内。

印影登録キー入力
印影ファイル名
00135_鈴木han

③印影ファイルに設定されている登録キーを入力して、ライセンス証書に記載されています。体験版印影の場合はTAIKENです。

印影登録キー
TAIKEN

④ステップ1で設定した印影ファイル名が表示されます。

⑤印影ファイルの印影登録キーを入力します。

日付形式 (Date Format)
NoDate
YY.MM.DD
YY.MM.DD
YY-MM-DD
YY/MM/DD

⑥日付形式を設定します。日付を表示しない場合はNoDateを選択します。

プロファイル
tkprf_han_24mm.xml
tkprf_han_9mm.xml
tkprf_han_date_center.xml
tkprf_han_default.xml

⑦プロファイルを設定します。プロファイルのデフォルトはtkprf_han_default.xmlです。特に必要がなければ変更しません。

インデックスファイルパス
C:\Users\Onodera\Documents\shdata\shnindex.dat

詳細設定

<< 戻る OK

⑧詳細設定ボタン
詳細設定ダイアログが開きます。日付の文字フォントなどを変更することができます。

日付形式は次の表のようになります。

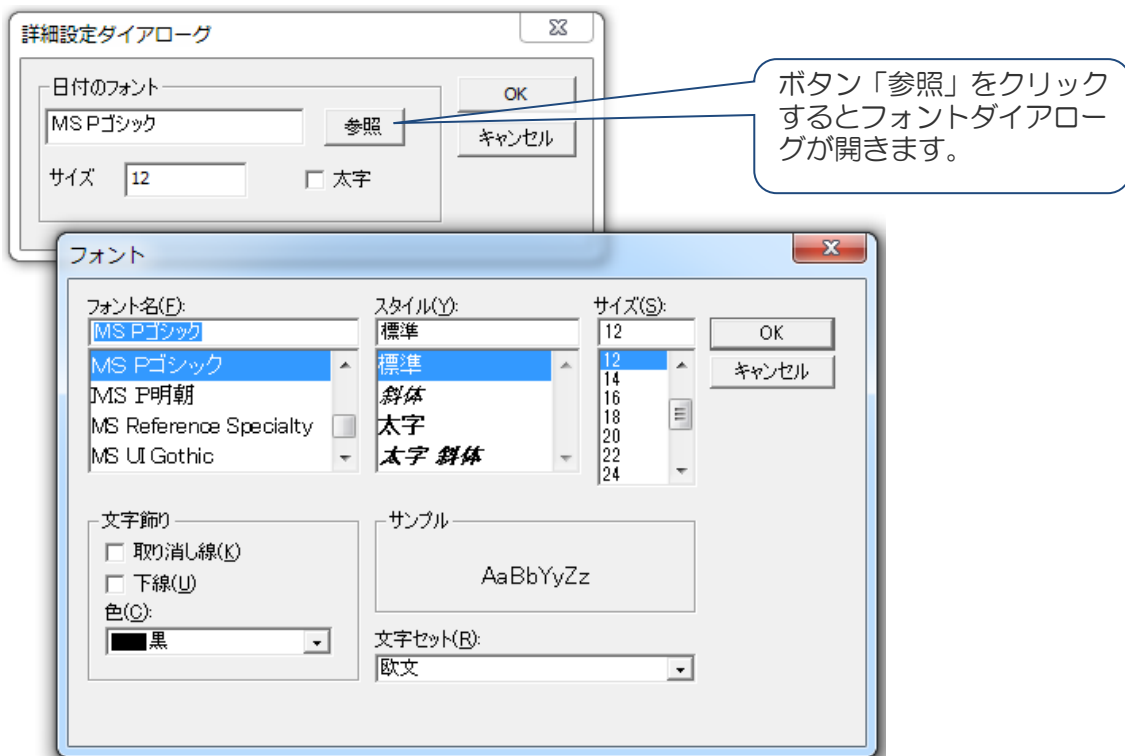


2003.11.16

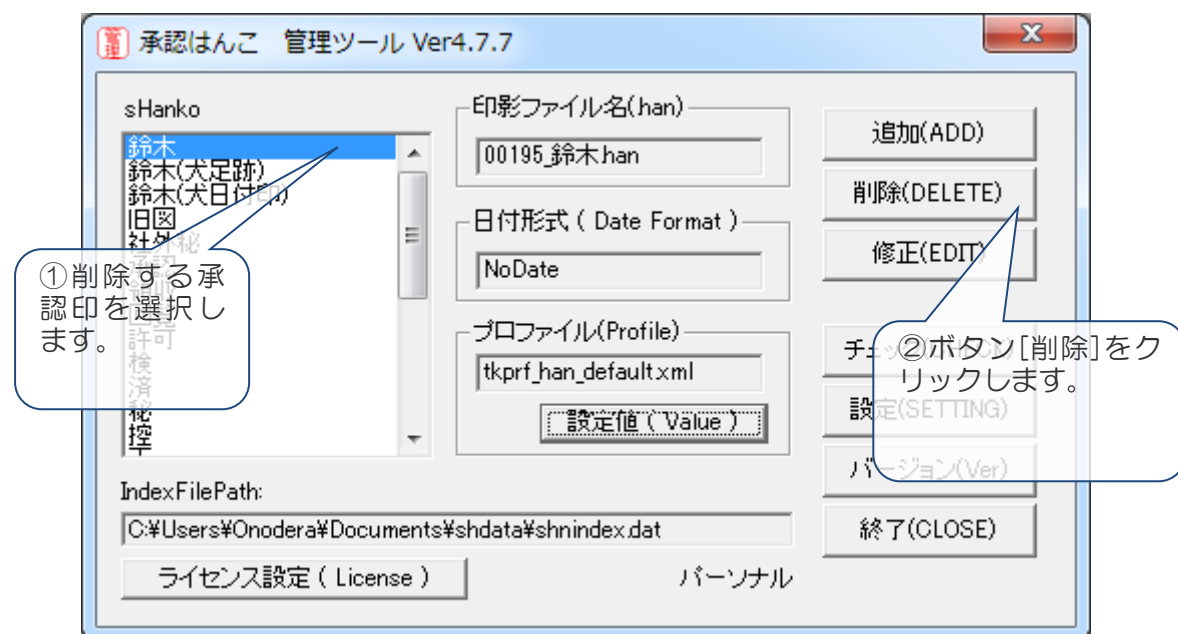
	日付形式	表示例	説明
西 暦	'YY. OM. OD	'10. 05. 25	1桁の場合は0を挿入
	'YY. MM. DD	'10. 5. 25	
	'YY-MM-DD	'10- 5-25	
	'YY/MM/DD	'10/ 5/25	
	YY. MM. DD	10. 5. 25	
	YY-MM-DD	10- 5-25	
	YY/MM/DD	10/ 5/25	1桁の場合は半角スペースを挿入。
	YYYY. MM. DD	2010. 5. 25	
	YYYY-MM-DD	2010- 5. 25	
	YYYY/MM/DD	2010/ 5. 25	
和 歴	NN. MM. DD	22. 5. 25	
	NN. OM. OD	22. 05. 25	1桁の場合は0を挿入
	HNN. MM. DD	H22. 5. 25	1桁の場合は半角スペースを挿入
	HNN. OM. OD	H22. 05. 25	1桁の場合は0を挿入
	NoDate	日付なし	

6-3. 詳細設定

追加ダイアログおよび修正ダイアログの「詳細設定」ボタンをクリックすると詳細設定ダイアログが開きます。

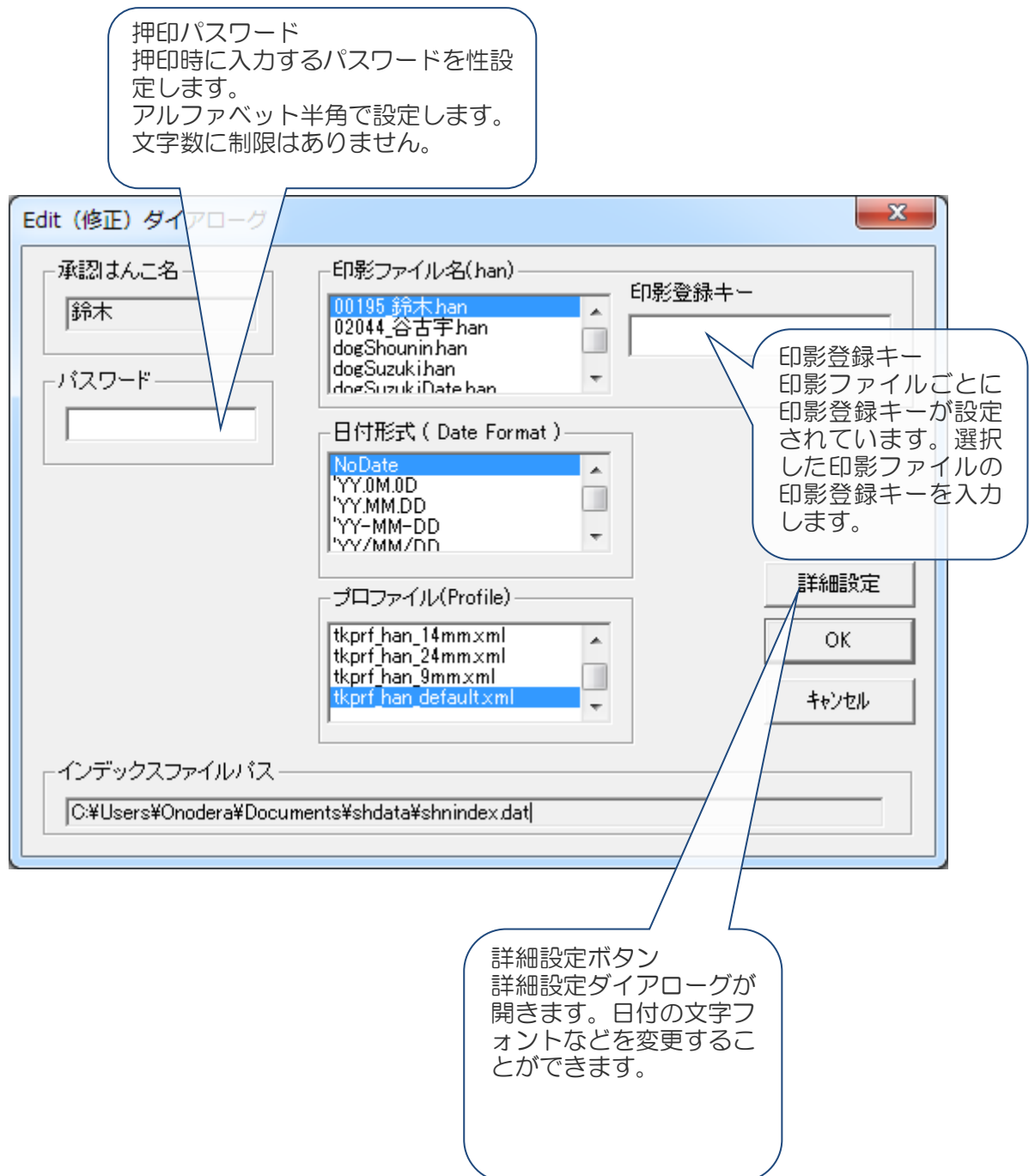


6-4. 承認印の削除



6-5. 承認印の修正

承認印を修正するには、修正する印名を選択して、ボタン「修正 (Edit)」をクリックします。修正ダイアログボックスが開きます。



実習4 自分の名前の登録

実習2、3では承認はんこに添付されているサンプルのインデックスファイル shdata¥shnindex.dat を用いました。このインデックスファイルには既に「鈴木」の承認印が登録されています。

次に、このインデックスファイルに自分の名前の承認印を追加します。以下の説明では、名前を「青山」と仮定していますが、自分の名前に置き換えて操作して下さい。

■自分の名前の印影ファイルの体験版をゲットします

とろろこんぶシステム工場のホームページ上の印影リストページを開いてみてください。2100の姓に対する印影ファイルが存在しています。

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/>

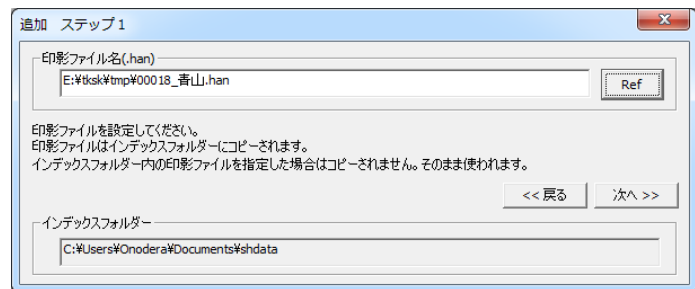
印影ファイルは有料ですが、体験版が用意されていますので次の URL からダウンロードしてください。

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/download.html>

解凍し、自分の名前の印影ファイルを確認します。ここでは印影「青山_00018.han」を用いた登録例を説明します。「青山_00018.hanx」の場合も同様です。

手順1) Windows のスタートメニューから「承認はんこマネージャ」を選択し、承認はんこ管理ツールを起動します。

手順2) ボタン「追加(Add)」をクリックします。
追加 ステップ1 ダイアログが開きます。



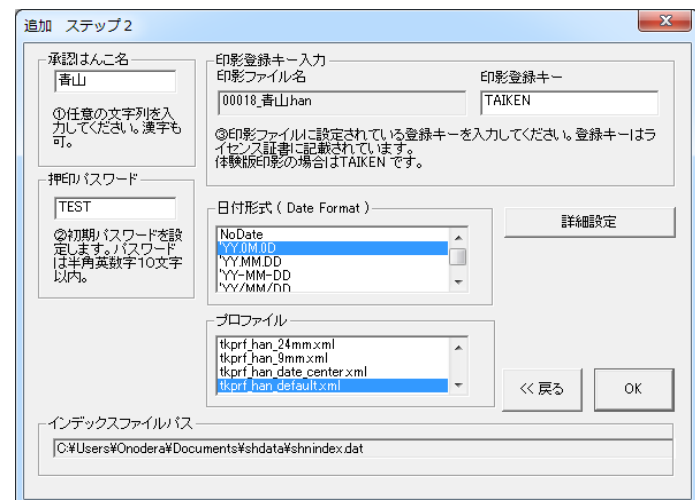
印影ファイルを設定し、ボタン[次へ>>]をクリックします。

手順3) 右図のように入力します。

承認はんこ名：青山
パスワード：TEST
印影登録キー：TAIKEN

押印パスワードは押印時に入力するパスワードで任意に設定できます。ここでは TEST と入力します。
印影登録キーは印影ファイルにセットされているキーで、ライセンス証書に記載されています。

体験版印影ファイルの印影登録キーは TAIKEN です。

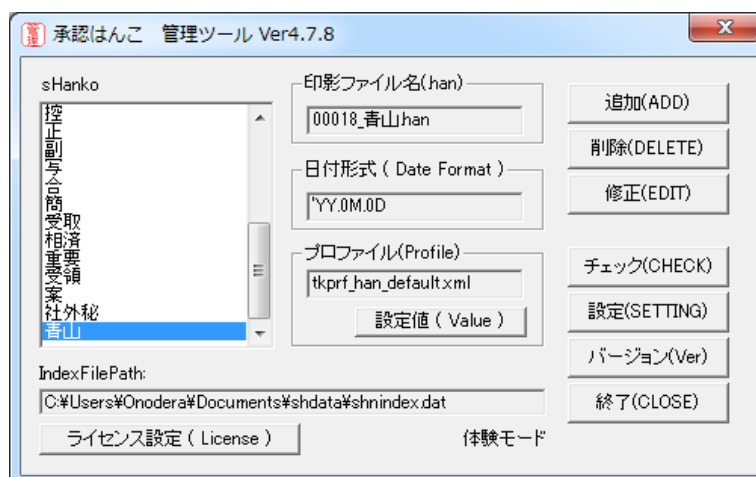


手順4) 「Add(追加)」ボタンをクリックします。

これで「青山」の承認印が登録されました。

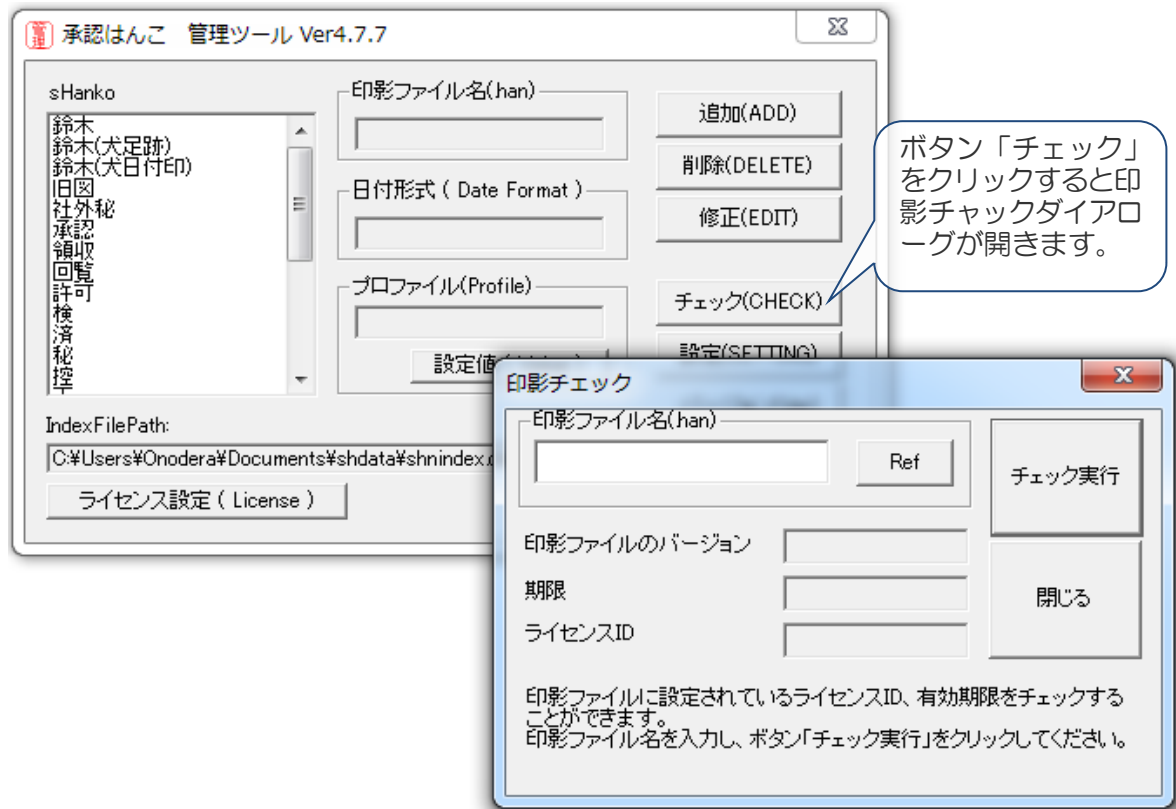
ノート) 承認はんこ名は重複登録はできません。また、承認はんこ名前後の半角スペース及び全角スペースは自動的に削除されます。

実習 2, 3 を参考に押印し、「青山」が押印できることを確認してください。



7. 印影ファイルのチェック

印影ファイルの期限チェックは管理ツール shankmgr.exe で行います。



手順1) 管理ツール shankmgr.exe を起動します。

手順2) 管理ツールのボタンを「チェック」をクリックします。
印影チェックダイアログが開きます。

手順3) ボタン「Ref」を用いてチェックする印影ファイルを選択します。

手順4) ボタン「チェック実行」をクリックすれば印影ファイルの押印期限、ライセンス ID が表示されます。



チェックする印影ファイル名を設定する。



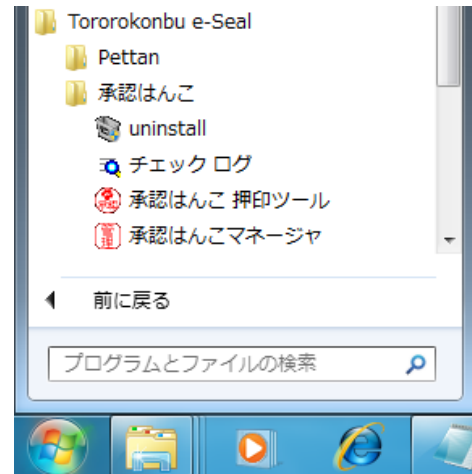
ボタン「チェック実行」をクリックすれば印影ファイルの押印期限とライセンス ID が表示されます。

8. パスワードの変更

パスワードの変更は承認はんこ 押印ツール(shanko.exe)で行います。

パスワード変更手順は次の通りです。

手順 1) スタートメニューから「承認はんこ 押印ツール」を起動します。



手順 2) メニュー [設定] → [パスワード変更 ...] を選択します。

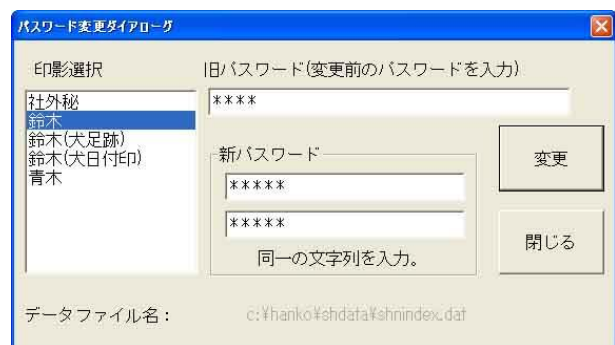
パスワード変更ダイアログが開きます。



手順 3) 承認印選択リストボックスでパスワードを変更する承認印を選択し、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

注) 新しいパスワードは2つのエディットボックスに同じものを入力します。ミスタイプを防ぐためです。任意の英数字で文字数に制限はありません。

手順 4) ボタンをクリックします。



実習5 パスワードの変更

「鈴木」のパスワードを変更します。
現在のパスワードには **TEST** を入力します。
新しいパスワードには任意の英数字を入力します。

9. プロファイル

日付を表示する場合の表示位置、挿入される電子印鑑オブジェクトのサイズはプロファイルで設定します。

プロファイル（デフォルトファイル名 tkprf_han_default.xml）はインデックスファイル shnindex.dat と同じフォルダ（印影データフォルダー）に置いてください。

プロファイルはメモ帳などのテキストエディタで編集することが出来ます。プロファイルは複数用意することができ、承認はんこ登録毎に選択できます。

プロファイルの構造

例) tkprf_han_default.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-2022-JP" ?>
<Profile>
  <Shape><Size><X>11</X></Size></Shape>
  <Date><Y>160</Y></Date>
</Profile>
```

			説明	デフォルト値
Shape	Size	X	オブジェクトのサイズ(単位 MM) 水平方向のサイズを指定します。 【日付を表示しない場合】 垂直方向のサイズは水平方向と同じ、つまり正方形になります。 【日付を表示する場合】 ・日付の Y 座標が 128 から 180 の場合は、 垂直方向のサイズは水平方向のサイズの 1.5 倍になり、縦長の長方形になります。 ・日付の Y 座標が 0 から 127 の場合は、 垂直方向のサイズは水平方向と同じ、つまり正方形になります。	11
Date		Y	日付を表示する場合の位置を 0～180 の間で設定します。詳しくは下記の「日付の表示座標」を参照してください。	Arial

■日付の表示座標

プロファイルの タグ<Date><Y> に日付表示の座標を設定します。

水平方向（X 座標）は中央になります。
垂直方向（Y 座標）のみ設定いたします。

設定値は 0 から 180 の間にします。

印影の下に表示するのであれば 128 から 180 の間で設定します。

印影の中央に表示する場合は 76 前後にします。



9-1. プロファイルの選択

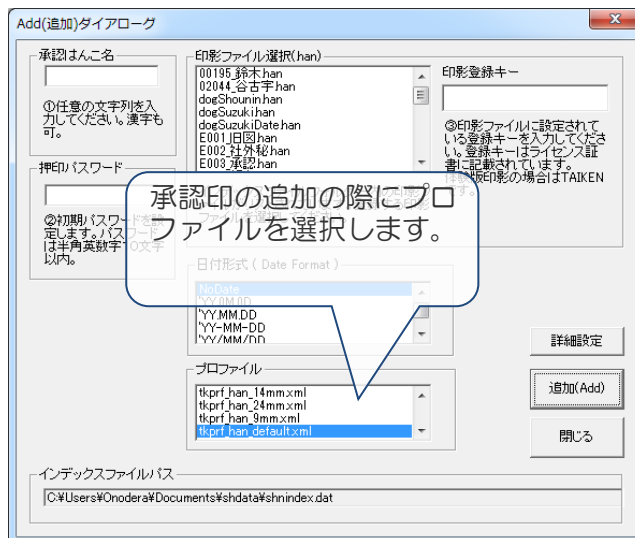
プロファイルは承認印毎に選択できます。

プロファイルの選択は承認はんこ管理ツール(承認はんこマネージャ shankmgr.exe)で行います。

承認はんこマネージャを起動し、追加/修正ダイアログではんこを追加/修正する際に指定します。

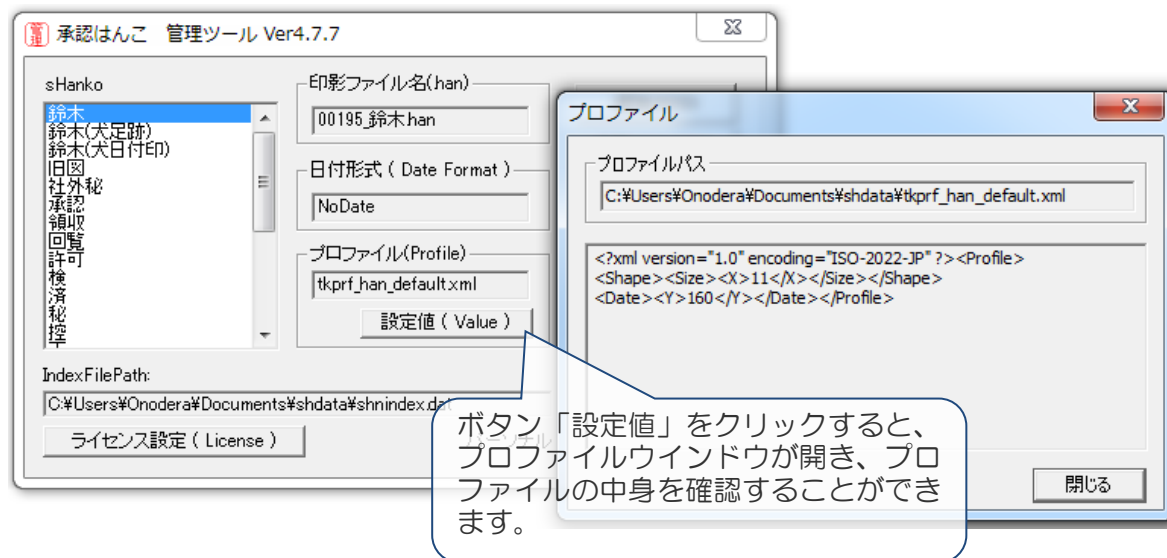
右図の例は追加ダイアログの例です。

プロファイルのファイル名は承認印登録時に選択します。



9-2. プロファイルの中身の確認

プロファイルは管理ツール上のボタン[設定値]をクリックすることで内容を確認することができます。



10. ログの出力

ログには 押印ログと管理ログの2種類があります。

押印ログは押印するたびに押印ツールから出力されます。

管理ログは承認印を追加、編集、削除するたびに管理ツールから出力されます。

10-1. 押印ログ

押印時に押印情報をログ出力することができます。

文書番号、押印日、押印時間、承認者、所属、コメントを出力します。

ログファイル名はデフォルトでは hankolog.txt で、ドキュメントフォルダーに出力されます。

押印ログの出力先は押印ツールで変更できますが、押印者に変更を許したくない場合は管理ツールで押印ログの出力先を設定します。

10-1-1. 押印ログの形式

ログには押印時に押印ダイアログに入力した押印情報（文書番号、押印日、押印時間、承認者、所属、コメント）及び Windows ログインユーザ名、コンピュータ名が出力されます。最後にログ改ざん防止用のハッシュコードが付加されます。

コメントが複数行ある場合は、1行目のみログ出力されます。

ログの出力形式は CSV 形式です。デリミタはパイプ（縦棒）とカンマが選択できます。

ログ出力形式

文書番号, 押印日, 押印時刻, 押印者の氏名, 押印者の所属, コメント, Windows ログインユーザ名, コンピュータ名, ハッシュコード

例

パイプ形式の例

Doc No. 0088909-003|2010/07/17|14:15|鈴木太郎|情報システム部|部長承認|Onodera|GB1|1XWCYVWB|

CSV（カンマ）形式の例

Doc No. 0088909-003, 2010/07/17, 14:16, 鈴木太郎, 情報システム部, 部長承認, Onodera, GB1, 1YWC2XWG,

10-1-2. 押印ログ出力先の設定

ログの出力先は任意に変更できます。デフォルトの出力先はドキュメントフォルダーです。

ログの出力先の設定は押印ツールおよび管理ツールのどちらでも設定できます。

ログの出力先の設定は押印ツールおよび管理ツールのどちらでも設定できますが、管理ツールで設定した場合は押印ツールでは設定ができなくなります。

① 押印ツールでの設定

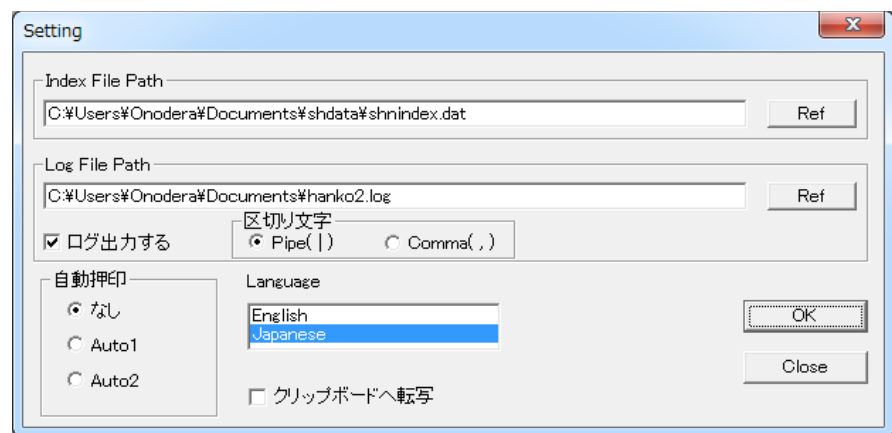
押印ツール を起動し、メニュー[設定] → [ファイル設定...]を選択します。



ログの出力先、デリミタを設定します。

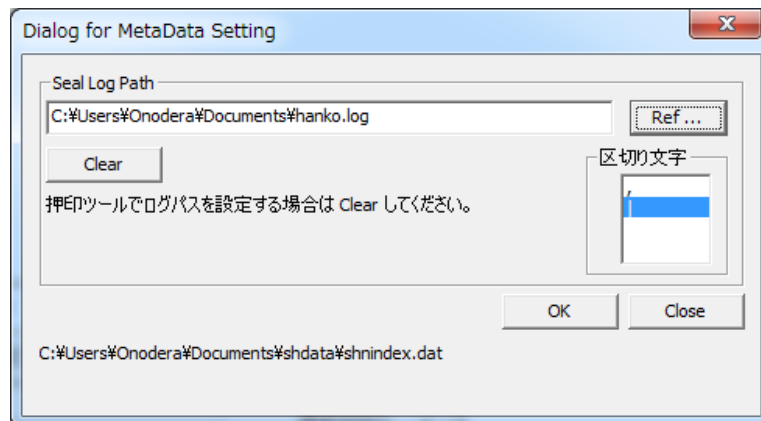
ログファイルを出力するには[ログ出力する]にチェックを付けます。

ログファイル名を変更するにはボタン[Ref]をクリックします。



② 管理ツールでの設定

管理ツール を起動し、ボタン[押印設定]をクリックします。



押印ログパス (Seal Log Path) を設定し、ボタン[OK]をクリックします。

管理ツールによる押印ログパス設定値は承認はんこデータファイル（インデックスファイル）に書き込まれます。承認はんこデータファイル毎に押印ログパスの設定を行う必要があります。

管理ツールで押印ログファイルパスを設定すると押印ツールでは押印ログファイルパスの設定ができなくなります。押印ツールで押印ログパスの設定をできるようにするにはボタン[Clear]をクリックし、押印ログパスの設定値を空白にしてください。

10-1-3. 押印ログのチェック

ログが不正に改ざんされていないことをチェックすることができます。
 ログにはハッシュコードが付加されており、ログが不正に修正された場合、ハッシュコードが一致しくなくなります。

ログのチェックには checklog を用います。ログにチェック手順を以下に説明します。

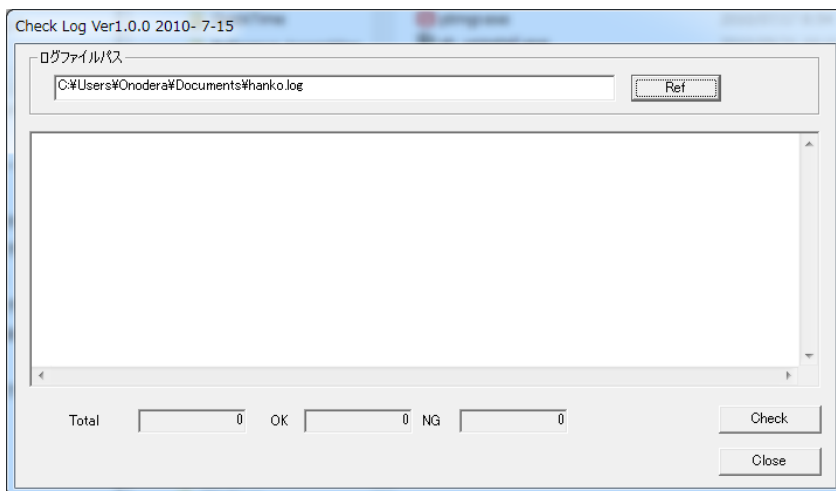
サンプルのログファイル、2行目のログの文書番号が改ざんされています。

Doc No. 0088909-003|2010/07/17|14:15|鈴木太郎|情報システム部|部長承認|Onodera|GB1|1XWCYVWB|
 Doc No. 0088909-004, 2010/07/17, 14:16, 鈴木太郎, 情報システム部, 部長承認, Onodera, GB1, 1YWC2XWG,
 Doc No. 0088909-003, 2010/07/17, 14:16, 鈴木太郎, 情報システム部, 部長承認, Onodera, GB1, 1YWC2XWG,

手順1) CheckLog を
 起動します。

手順2) ボタン[Ref]
 をクリックして、チ
 ェックするログファイル
 を選択します。

手順3) ボタン
 [Check]をクリックし
 ます。

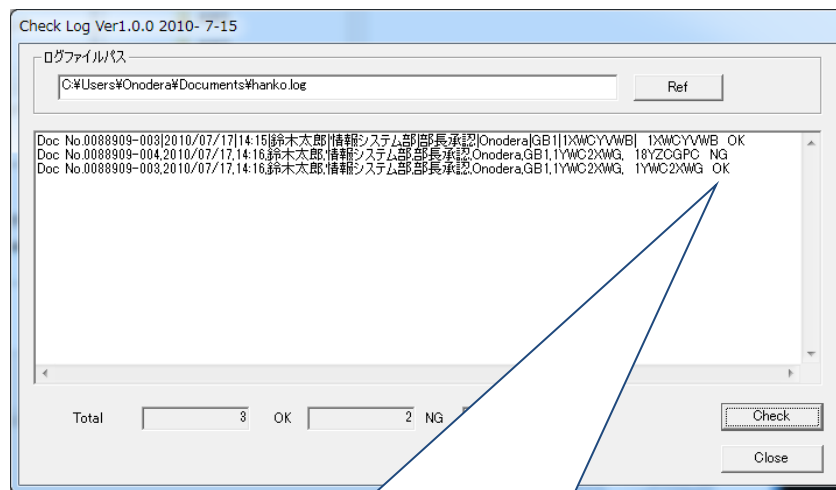


チェックが実行され結
 果が表示されます。

ログの各行の最右にチ
 ェック結果が表記され
 ます。

OK: 問題なし
 NG: 問題あり

右図の例では2行目が
 改ざんされているた
 め、NGになっています。



ログの各行の最右にチェック結果が表記されます。

OK: 問題なし NG: 問題あり

10-2. 管理ログ

管理ツールで承認印を追加、編集、削除するたびに管理ログが出力されます。

ログ出力形式

フラグ|承認はんこ名|日|時|

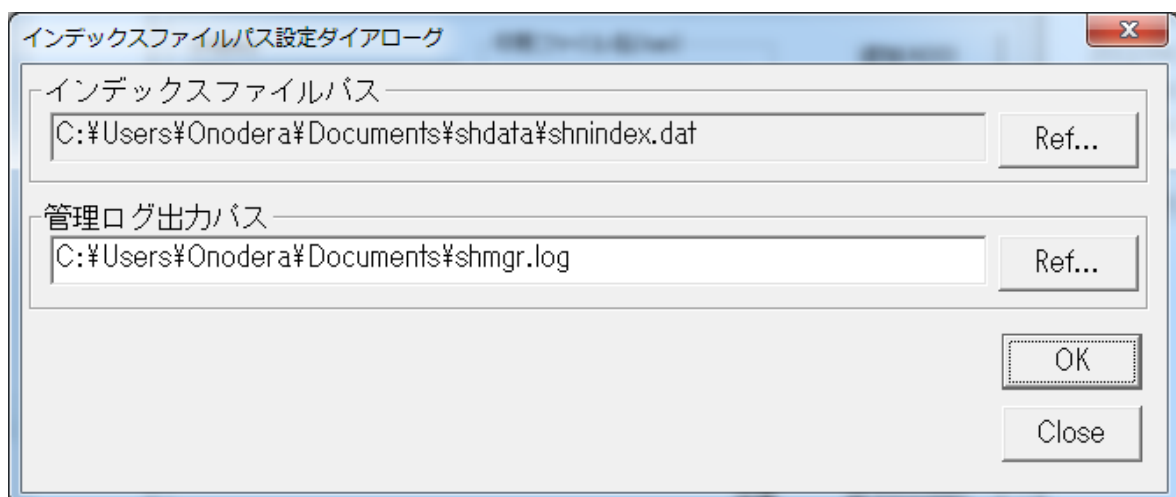
フラグは次の通りです。

ADD --- 追加
EDT --- 編集
DEL --- 削除

例

DEL|安部|2012/04/15|23:05|

管理ログの出力先は 管理ツールの設定ダイアログで変更できます。



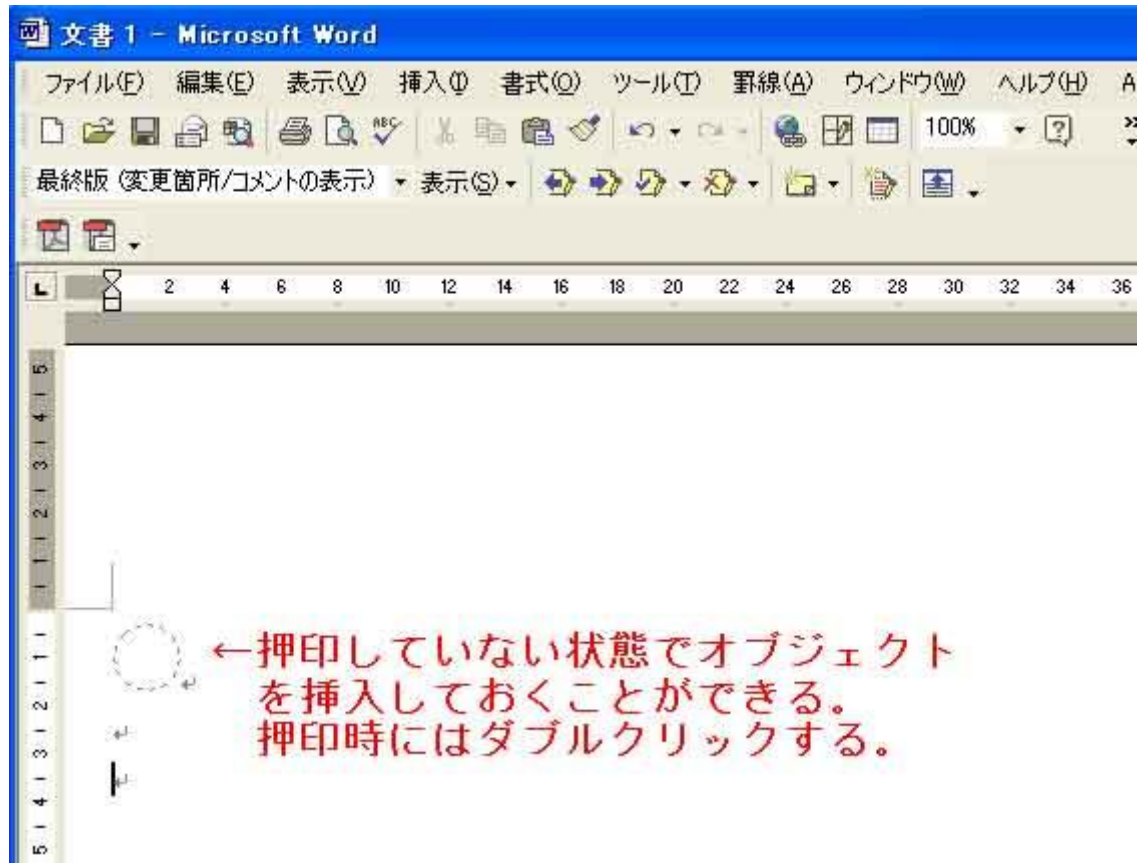
デフォルトの管理ログ出力先は




ドキュメントフォルダー\shmgr.log

になります。

11. 未押印オブジェクト

承認はんこは押印しない状態であらかじめワードなどで作成したフォーム（様式）に埋め込んでおき、押印の際にはこの埋め込んでおいた承認はんこをダブルクリックするという方法があります。



		
部門長	所属長	担当者

承認はんこオブジェクトがあらかじめ挿入されている承認枠の例。

12. 自動押印

押印ダイアログを表示せずに押印できます。

自動押印機能を使用するにはパスワード保存機能を用い、あらかじめパスワードを設定して使うのが基本です。パスワードが保存せずに自動押印機能を用いた場合は、押印ダイアログが開きます。

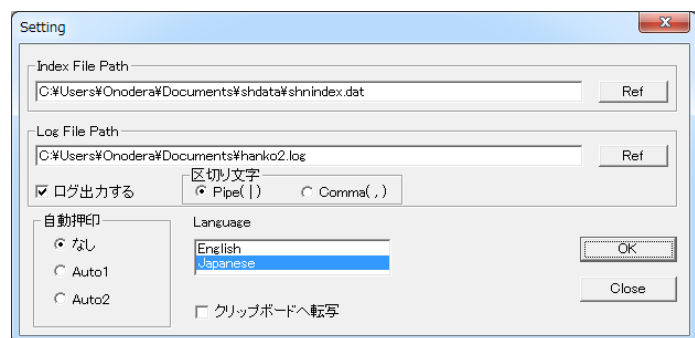
パスワード保存有り	
自動押印なし	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [押印ダイアログ] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印 1	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [完了]
自動押印 2	[オブジェクト挿入] → [完了]
パスワード保存なし	
自動押印なし	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [押印ダイアログ] → [パスワード入力] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印 1	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [押印ダイアログ] → [パスワード入力] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印 2	[オブジェクト挿入] → [押印承認ダイアログ] → [パスワード入力] → [OK ボタン] → [完了]

自動押印するためにはあらかじめパスワードを保持しておく必要があります。押印ダイアログ中の「Save Password」にチェックをし、1 度押印しておきます。



自動押印の設定

承認はんこを起動し、メニュー「設定」→「ファイル設定」を選択します。Auto1 または Auto2 を選択し、OK ボタンをクリックして設定ダイアログを閉じれば、自動押印設定は終了です。



12-1. 自動押印の設定

承認はんこ shanko.exe が起動された状態で、メニュー[設定:ファイル設定]をクリックします。

12-2. 自動押印の解除

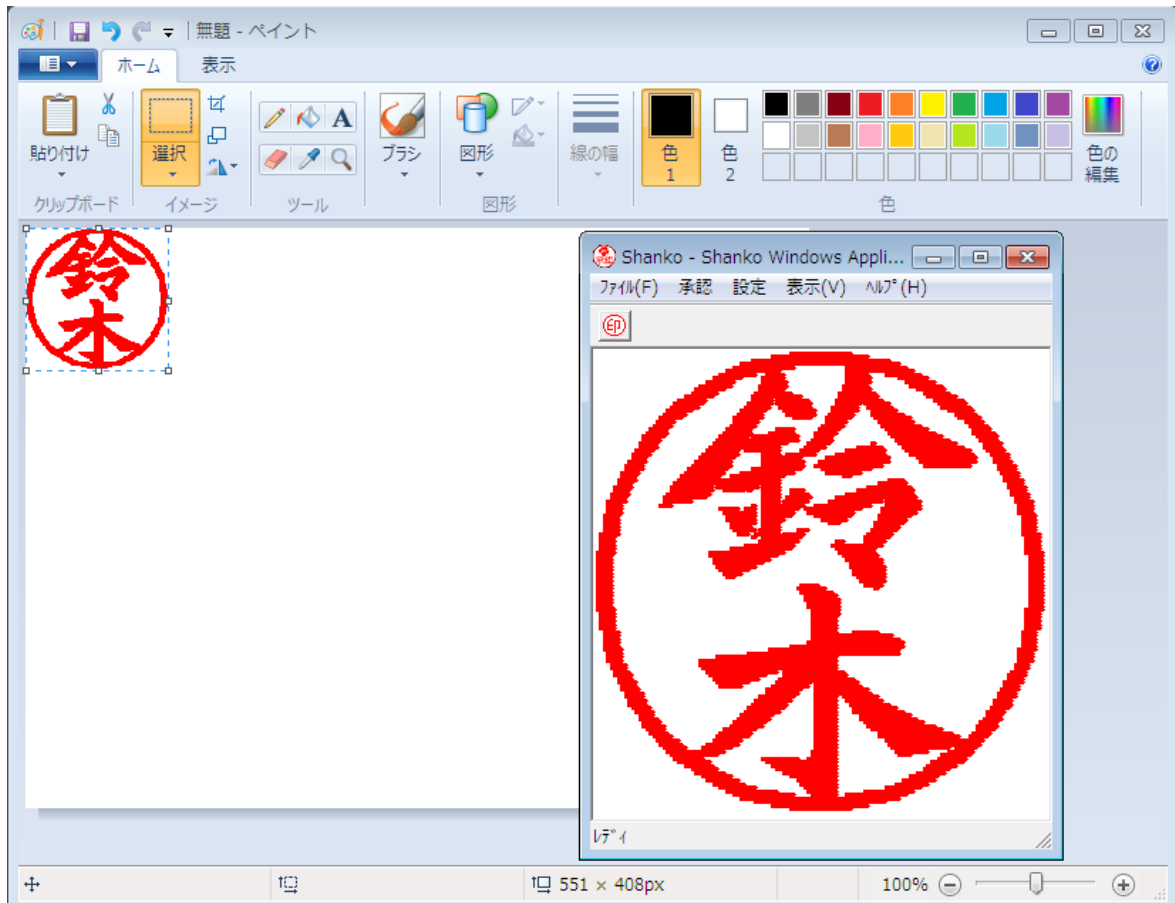
承認はんこ が起動された状態で、メニュー[設定:ファイル設定]をクリックします。自動押印を [なし] にします。

13. クリップボード転写

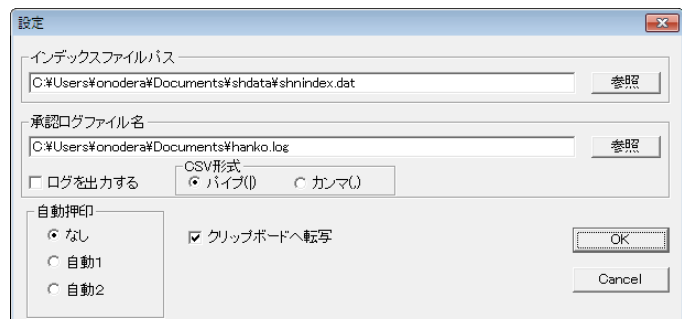
OLE に対応していないアプリケーションを用いて文書を編集している場合、オブジェクトの挿入機能がないため押印できません。

そのような場合には、クリップボード経由で印影イメージを文書に押印することができます。

承認はんこを起動し、押印すれば印影イメージがクリップボードに転写されます。

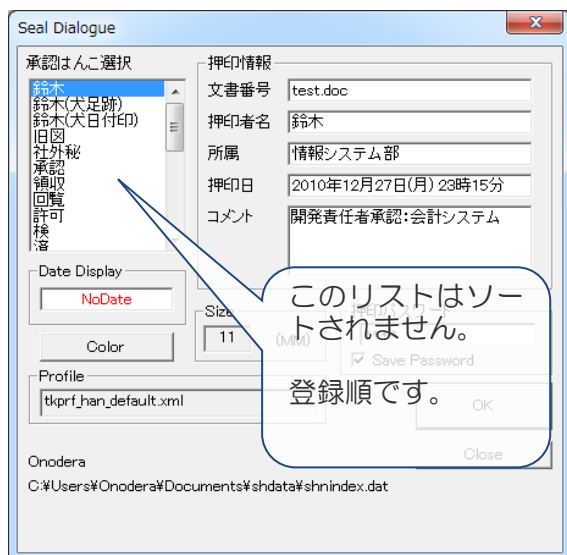


印影イメージをクリップボードの転写するには設定ダイアログの「クリップボードへ転写」チェックボックスにチェックを入れておく必要があります。



14. 押印ダイアログの承認はんこ選択リストの順番

以前のバージョンでは、承認ダイアログ中の承認はんこ選択リストがソーティングされていなかったにもかかわらず、管理ツールではソーティングされていました。表示順序に差異が生じ、場合によっては使いにくい面がありました。バージョン 4.7.4.6a では管理ツールもソーティングしないように変更しました。



[MAIN]
Number=4
Hanko0000=鈴木(犬足跡)
Hanko0001=社外秘
Hanko0002=鈴木
Hanko0003=鈴木(犬承認印)

承認はんこ shanko.exe

承認ダイアログ中の承認はんこ選択リストはソートされない。

インデックスファイル

選択リストの順番は インデックスファイルの MAIN セクションで決まる。

承認ダイアログ中の承認はんこ選択リスト及び管理ツール shankmgr.exe Ver4.7.4.6 の選択リストの順番は インデックスファイルの MAIN セクションで決まります。

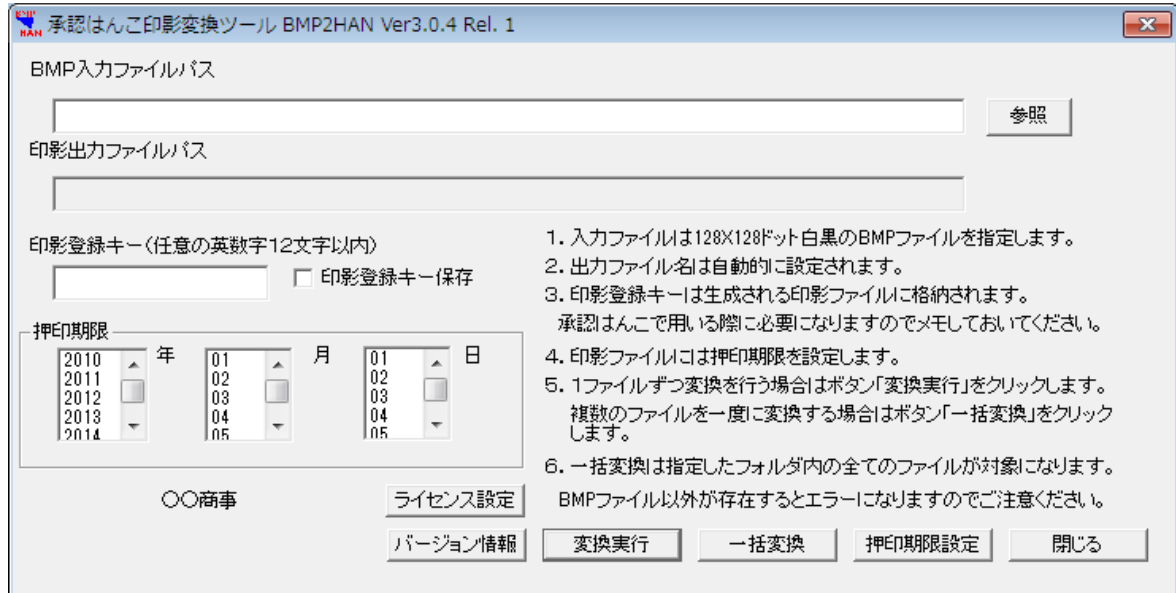
従って、リスト中の表示順番を変更したい場合は、インデックスファイルの MAIN セクションをメモ帳などで編集すれば、表示順番を買えることができます。

例) 社外秘をリストの最後にする場合

[MAIN]
Number=4
Hanko0000=鈴木(犬足跡)
Hanko0003=社外秘
Hanko0002=鈴木
Hanko0001=鈴木(犬承認印)

Appendix A 承認はんこ 印影ファイル変換ツールのご案内

承認はんこ 企業ライセンスご購入のユーザは承認はんこ 印影ファイル変換ツール bmp2han を使って印影ファイルを作成することができます。



印影ファイル変換ツール bmp2han の操作方法については印影ファイル変換ツール bmp2han ユーザーズガイドをご覧ください。

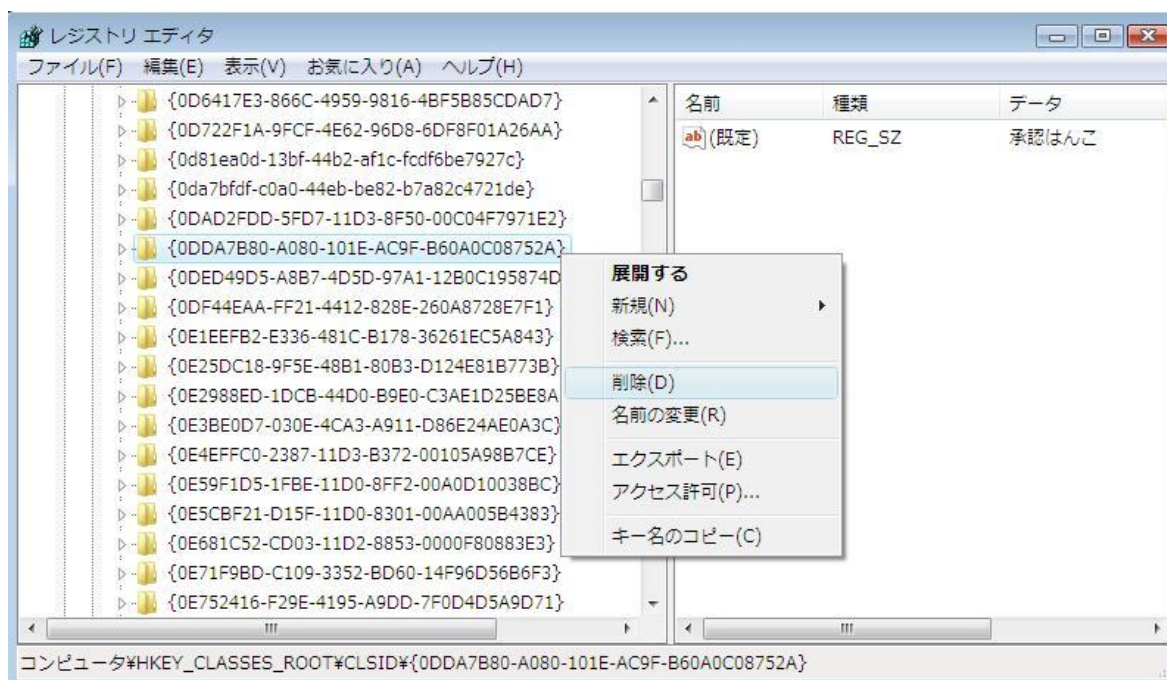
承認はんこ印影変換ツール bmp2han は、次のサイトからダウンロードしてください。

http://www.tororokonbu.jp/download_bmp2han.html

Appendix B. レジストリに登録される承認はんこオブジェクト

承認はんこをインストールするとレジストリに次の2つが登録されます。
なお、アンインストールの起動によって自動的に削除されます。

- ① HKEY_CLASS_ROOT¥CLSID¥{0DDA7B80-A080-101E-AC9F-B60A0C08752A}
- ② HKEY_CLASS_ROOT¥Shank. Document



C-1. レジストリエディタ

レジストリの内容を確認するにはレジストリエディタ(regedit.exe)を用います。

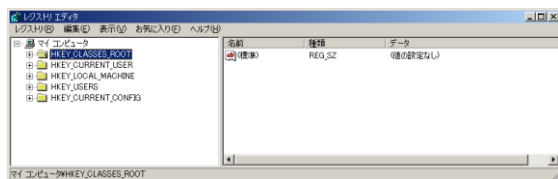


図 C-1 レジストリエディタを起動する



図 C-2 「承認はんこ」を検索する

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。

手順1) レジストリエディタ(regedit.exe)を起動します。(図 C-1)

スタートボタン → 「ファイル名を指定して実行」を選択し、regedit と入力し、OK ボタンをクリックします。レジストリエディタが起動されます。

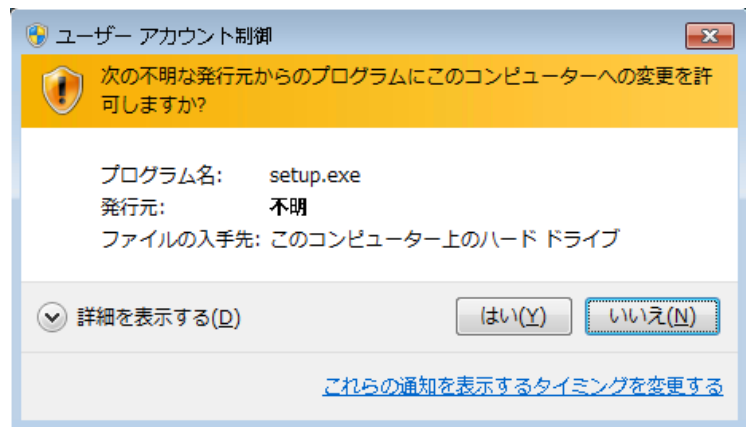
Appendix C. 実行モジュール及びインストーラに付加されているデジタル証明書について

承認はんこの実行モジュール(shanko.exe など)およびインストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合はインストーラ実行時に次のメッセージが表示されます。

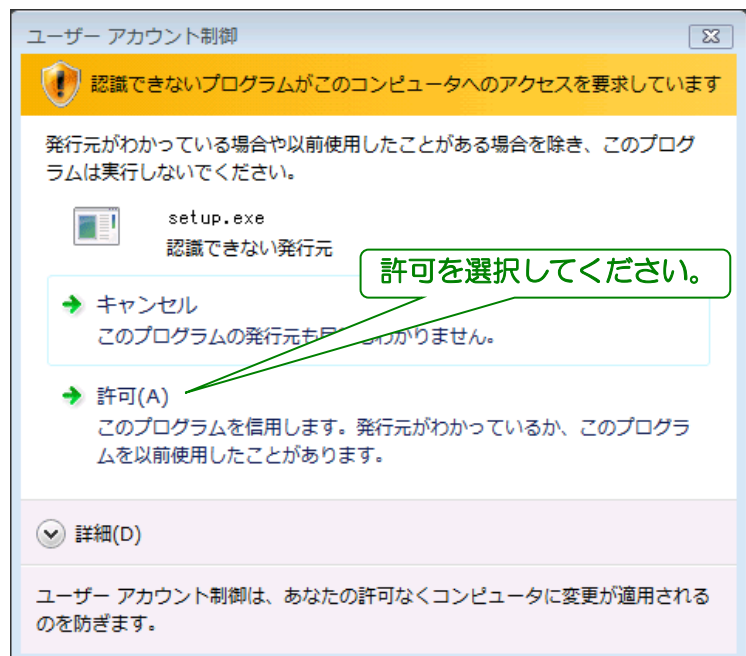
【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



【Windows Vista の場合】

「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」と表示されますので、「許可 (A)」を選択してください。

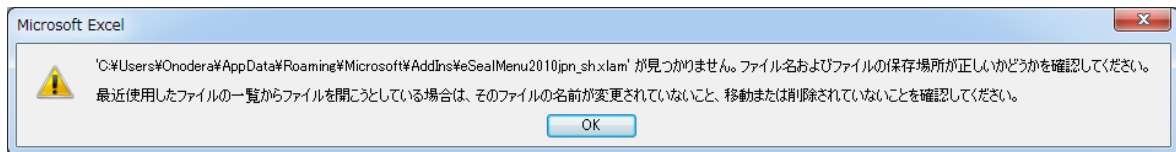


なお、パソコンにインストールされているルート証明書はインターネットエクスプローラのオプションで確認することができます。

Appendix D. アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化

Excel に承認はんこ押印メニューが組み込まれている場合は、承認はんこのアンインストールを行う前に押印メニューアドインの無効化を行ってください。

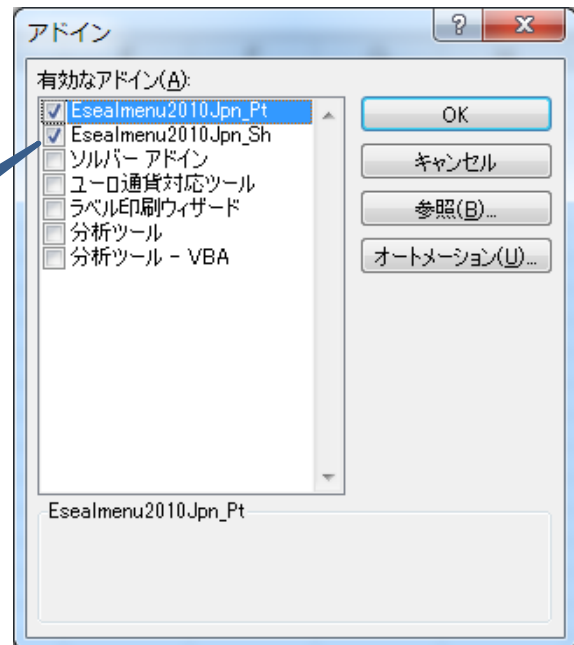
無効化せずに承認はんこのアンインストールを行うとエラー「'C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\ESealMenu???jpn_sh.xlam' が見つかりません。」が表示されます。



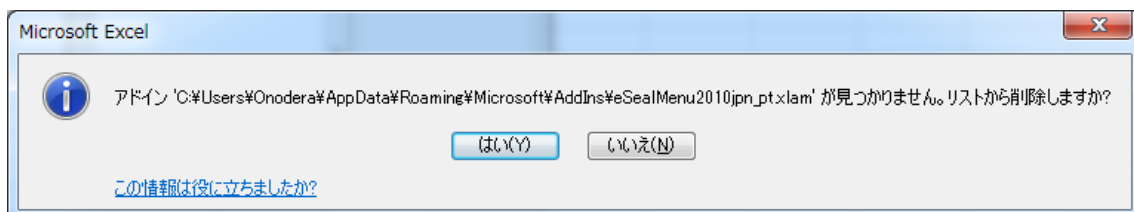
■このエラーが起きてしまった場合の対処方法

Excel のアドインダイアログを開き、有効なアドインリスト上の押印メニューアドインのチェックを外してください。

チェックを外します。



リストから削除するか確認メッセージが表示されますので「はい」を選択します。



おわり

とろろこんぶシステム工房